

2019年4月12～15日

世論調査(時事)、地方議員アンケート(NHK)、大阪12区、  
沖縄3区補選、自衛隊・軍備、沖縄、地方選後半、野党・政局

NHK4月12日 17時36分



### 令和「良い」8割超＝内閣支持上昇4.3％－4月の時事世論調査

時事通信 2019年04月12日 15時05分



時事通信が5～8日に実施した4月の世論調査で、「令和」に決まった新元号について、8割を超える人が「良い」と答えた。安倍内閣の支持率は前月比4.0ポイント増の43.0%、不支持率は2.1ポイント減の34.3%だった。平成に代わる新元号が好感されたことが、支持率上昇につながったとみられる。

東日本大震災からの復興を軽視する発言を受けた桜田義孝氏の五輪相辞任は調査後で、「付度(そんたく)」発言による国土交通副大臣交代と合わせて短期間に安倍政権の失態が相次いだ影響は反映されていない。

新元号をどう思うかと尋ねたのに対し、「大変良い」23.9%、「良い」60.9%を合わせて84.8%が良いと回答。「あまり良くない」は8.5%、「良くない」は1.9%だった。

	4月	3月	2月		4月	3月	2月
自民党	26.7	25.5	25.4	日本維新の会	1.3	1.4	1.0
立憲民主党	4.3	4.3	3.4	自由党	0.2	0.2	0.3
国民民主党	0.6	0.7	0.3	希望の党	0.1	0.1	0.1
公明党	3.9	2.8	3.3	社民党	0.1	0.2	0.6
共産党	1.9	2.3	1.8	支持なし	58.5	60.7	61.5

内閣支持の理由(複数回答)は、多い順に「他に適当な人がいない」20.1%、「リーダーシップがある」11.0%、「首相を信頼する」10.9%など。支持しない理由(同)は、「首相を信頼できない」18.7%、「期待が持てない」14.0%、「政策が駄目」11.0%となった。

政党支持率は、自民党が前月比1.2ポイント増の26.7%、立憲民主党は横ばいの4.3%。以下、公明党3.9%、共産党1.9%、日本維新の会1.3%、国民民主党0.6%など。支持政党なしが2.2ポイント減の58.5%だった。

調査は全国の18歳以上の男女2000人を対象に個別面接方式で実施。有効回収率は62.1%。

### 首長が強すぎる！～2万人議員アンケート

日本には「地方議員」が3万人もいることをご存じですか？今回、その全員に初めてのアンケートを行いました。回答してくれたのは2万人近く。NHKでは1か月にわたって、そのホンネをお伝えするキャンペーンを展開します。

アンケートで非常に多く見られたのが、議会と首長との関係をめぐる記述でした。今回はそこに焦点を当てます。

二元代表制を知っていますか？

自治体では、知事や市町村長などの首長も、議会の議員も、ともに直接選挙で選ばれます。

首長と議会は対等な関係で、首長・行政側が予算案や条例案などを作っても、議会の承認が得られなければ政策として実行できません。自治体の行政は議会のチェックのもとで運営される仕組みで、首長が議会を招集し、議案の審査を受けるわけです。これが「二元代表制」の仕組みです。

首長が強すぎる！

ところが、そうはなっていない、という声が相次ぎました。

60代の男性町議は、こう述べます。

「小さな町の町議ですが、首長(町長)の権限が強すぎて『無力感』でいっぱい。町の財政を真剣に考えているのか？と思われる議員が多く、多数決の悲哀を常に感じていて、イライラがつのります」

60代の男性市議は、質問する議員さえ減っていると。

「首長の権限が多くなり、それに追随する議員が多く、質問する議員数は全体の35%程度となっている状況です。全体の奉仕者として、行政事務を審査すべき議員数が少数派となっており、このような状況が続く限り、地方自治体の衰退、人口減少社会の中で生き延びてゆく道は閉ざされていくような気がする」

力の差の原因は

60代の男性議員は、発信力に差があると分析しています。

「首長と議会、議員の対比をした時、住民へのアピール度、政策立案力、広報力に大きな差があり、ここ数年格差が広がっていると思います。(議員の力量不足もありますが) 議会は執行部の行う事業、政策について議論し審議して賛否をかかぬる事はできるが、対抗していく事がむずかしい」

別の60代の男性議員は、首長が議会を分断することもできるからだ。

「首長に対し、付度(そんたく)したり、すり寄る姿勢をとる議員が多すぎる。そのような態度をとると、議員としての活動は楽になるのかもしれない。行政の長の権力は大変大きいので、議会・議員の分断をはかろうと思えば可能であるからだ」

40代の男性議員は、二元代表制が形骸化する構図をこう指摘します。

「地方議会は首長と議会がお互いに牽制(けんせい)し合う『二

元代表制』がとられています。首長と議会は『車の両輪』にたとえられ、形式的には対等・平等とされます。とはいえ実際には、予算や条例の提出権があり大統領のような強大な権限を持つ首長が圧倒的に強いのが実情です。二元代表制は形骸化しがちです。議員は住民の陳情をお願いすることもあります、行政に頼みごとをしているうちに『持ちつ持たれつの関係』となり、モノを言いにくくなる土壌が生まれます。特にトップダウン型の首長の場合、首長を批判すると自分の質問に対して前向きな答弁が出ず、議員としての実績が作りづらくなります。そこから議会側の付度オール与党化も生まれてきます」

議会を軽視している

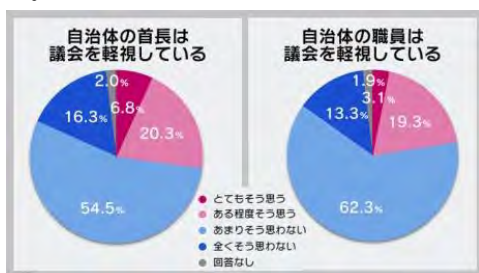
こうしたことの結果、首長が議会を軽視していると、40代の男性議員はいいいます。

「首長は議会を軽視している。首長と議会の間に緊張感がない。行政の監視ができていない。議会は機能していない」

60代の男性議員は、その責任は議会側にもあると指摘します。

「特に言わねばならないのは議会軽視、さらに議会無視の強行突破する首長の専決処分を何もできない議会の不能・無能・無力を再生しなければならない」

アンケートでは、「首長が議会を軽視している」という問いに「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と答えた議員は、合わせて27%余り。「行政が軽視」という問いでは、22%余りとなりました。



議会は「ガス抜き」の場

40代の男性県議は、議会は「ガス抜き」の場だと。

「予定調和で形骸化している。首長の権限が絶対的に強く、議会は『ガス抜き』的な意味合いにも感じる。期数を重ねないと、執行部が重視してくれない。都道府県議会は“中途半端”高齢化で弱体化

60代の男性県議は、議員の高齢化がこの事態を招いているといっています。

「地方自治制度上、首長の権限は極めて強大であるが、二元代表の一方である議員が選挙もないまま高齢化し、弱体化している。結果として、二元代表制度はいびつな状態になっている」

定数の削減も影響していると、50代の男性議員は指摘します。

「二元代表制といっても、首長の権限が非常に強くなっている。町村議会の定数削減はこの現状をさらに強めている」

もはや「なれ合い」

60代の女性議員は、なれ合いだと感じています。

「首長と議会との間に緊張感がなく”なれ合い議会”だと感じています。議員はあくまでも市民の代表でなければなりません。市民の利益を守るために汗するものだと思うのですが、市長のため

に汗している議員がほとんどです。議会の存在意義が今、問われていると思ってます」

50代の男性議員は、議会が追認機関になっていると指摘します。

「議会の役割について最近では行政についてさまざまな提案をすることも求められてきていますが、本来の役割は行政のチェック機能であり、そのことがないがしろにされていることに対して大きな不安を持っています。多様な意見を持ち、さまざまな視点から行政に意見し、行政の施策を高めていくことが求められているにもかかわらず、議会は行政の追認機関となり下がり、行政はそのことをよしとしているように見受けられます。議会と行政は付かず離れずの関係でいなければならないのに、行政にべったりでは本来の機能を果たせていないばかりか、自分たちの都合のいい価値観で行政が運営され、歪（ゆが）められているとしか思えない施策が行われている。

議会においても多数決が民主主義と言い、道理の通らないことでも数の力で押し通すことが頻繁に行われるようになりました。少数の意見に耳も課さないで一部の議員の意思による、行政の下請けのような議会は、全く議会の体をなさないばかりかみずからの首を絞めるようなものなのに、それに気づかない地方議会になり下がっています。

国会と、地方議会は違うことに議員も市民も気付こうとしないで、国会のまねごとを地方議会でもやろうともしています。

地方議会の議員の質の低下は目を覆うばかりで、地方議会の意義を全く解さない議員が多くなり、一般質問においても質問建てから答弁まで、執行部の丸抱えの議員が多くなってきているのは誠に嘆かわしい限りです」

だったら議会はいらない！

70代の男性市議は、別の議員の態度に怒り心頭です。

「先般の議会でも『市長が提案したことだからしょうがない』と議案が通ってしまい、終了後に『あれはおかしい』と言う議員がいました。なぜ反対しなかったのか聞くと『市長が言っていることだから』との返事。『それだったら議会なんかいらぬ』と言いました」

60代の男性市議も、議会の不要論の原因だと。

「首長と議員は車の両輪とよく言われるが、首長提案を丸のみして全て可決する光景が非常に多い。質疑でいろいろ不備を指摘しても結局は賛成に回ってしまう。これでは議会の存在意義が問われる。市民から見ても議会不要論が出てくるのはある意味当然だ。議員がもっともっと勉強して政策面において執行部と渡り合える能力を身に付ける必要がある」

50代の政令市議は、もはや「両輪」ではないといっています。

「市役所と議会は両輪ということばはすでに『死語』。市長選後、与党・野党がハッキリした。国政と同様に。サラリーマン議員が多くなった」

60代の男性村議は、強い危機感を覚えています。

「二元代表制に制度疲労が感じられます。村民の一部には『議会などなくても村長が一人いればたくさん』という意見もあります。歴史上、独裁者や全体主義者が出現した背景には『合法の名の下に』登場して来たと言われますが、そんな気配も感じます」



議会にいない、と自ら言う議員も

60代の男性議員は、自ら議会不要だと述べます。

「私個人の考えではあるが首長がしっかりしておられるかたであれば議会不用（原文ママ）と考える。最近の地方自治法は首長に権限が集中するべく方向に改正されていく傾向にあり、議会の権能が低下しており議会不用への方向となっていることも事実である。首長が決定した事項を議会が変えることは、ほぼ不可能であることも事実としてある」

「首長派」という存在

30代の男性市議は、「市長派」が問題だと主張します。

「制度としては二元代表制の形をとっていますが、実際は市長派とも言うべき議員や会派がいて議論はするけど、最終的に市長提案については全て賛成、修正すらしないということを目の当たりにしています。（議会にあげる前に、市長派の大会派には事前のお伺いを当局もして、そこで選別はしているようです）」

二元代表制が十分に機能していない、なれあいになっていて、本来の姿とかけはなれているということは全国的に傾向としてあるのかもしれないです」

60代の男性市議は、YESマンばかりだと。

「そもそも地方議会議員は、市長をはじめ執行部のチェック機関であるべきだが、『それ、最大会派に属せ！』だの『市長派にいないければならない！』だの、いまだに市民の方々は議会というものを理解されておられないように思います。本来議会は、『行政のチェック機関』である。それが、市長、執行部の『YESマン』になってしまっている。そして論議する時間さえ短くなり、賛成多数で決まってしまう議会は、大いに疑問である」

60代の男性市議は、議会本来の形と違うと指摘します。

「地方議会は、二元代表制の中で首長の政策、予算等に対して常に是々非々のぞんでる。政党政治の国政とは違うのに、とかく首長に対して野党、与党という言い方をするのは、本来の二元代表制を否定していることに等しい」

議員どうし協力して対抗できないか…

議員が協力して対抗すればいいのに、それができない事情があるとある町議はいいます。

「首長の権限が強力であり、なかなか1議員の意見などとりあげられない。そのためには議員間の連携が必要だが、町議の場合、選挙区は1区のため結局利害が対立し、調整をするまでに至らない。結局オール与党化して、町長にすりより自身の政策を実現するのが近道になってしまっている」

解散は困る

70代の男性議員は、腰が引ける時があると告白します。

「議員の一般的心理として首長の退職勧告決議案賛成するが、不信任案には腰が引ける（議会解散をされると困るため）」

ペナルティーがないのがダメ

60代の男性議員は、制度に問題があるという意見です。

「議会の議決権は認められているが、その議決案件に対し、首長が反しても法的にペナルティーが無いため、何のための議決権なのか！地方議会のあり方にギモンがある。予算を否決しても予算執行があり法的にペナルティーが無い。議会には実行権が無い」

め、行政は首長の思いどおりになる。これでは民主主義とは言えない」

役所に籠絡されている

30代の男性議員は、行政側に籠絡（ろうらく）されていると。

「われわれも反省しないといけない所もあります。役所側からの”ゴマすり”もあり、それに気分をよくして仕事を十分にしない議員も少なからずおり、この点は各議会での改善の取組に期待したい」

反対ばかりが議会じゃないとも

一方で、反対するばかりが議会じゃないと、50代の男性市議はいいます。

「首長や行政の批判し、あるいは反対する事が議員の仕事と思っている議員や市民が非常に増えてきた。反対に値する事と、賛成し前に進める事の区別をしっかりと判断する事が票につながる感じがしない」

負けてないぞ、という議会も

70代の男性村議は、首長に負けていないものの、課題はもっとほかにあるといいます。

「私の村は議員の力が強いので村長だけの力では議会はコントロールできない。たとえ村長の意見でもよく否定される。日本の田舎の議会がよく言われる『おてもり』単なる『儀式』ということはないように思える。ただ、予算の中でもすでに必要なお金の支出が90%近くすでに決まっている。日本の自治は中央の力が強すぎる感がある。もっと中央でなく、地方で決められることがあってもよいと思う」

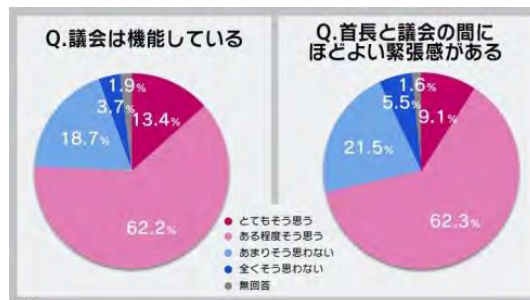
二元代表制をやめてしまっは？

50代の男性議員は、二元代表制をやめてしまえば、と提案します。

「二元制を止めて一元制にするなど、地方自治体のあり方を都市によって、選択できる制度にすることにより多様な自治体運営が可能となる。※一元制・議員の中から首長を選ぶ制度 欧州など先進諸国では一般的。日本も戦前は、一元制だった」

地方自治のあるべき姿は…

議会と首長との関係の問題点を指摘する自由記述は、このように多数にのびりました。ただ、アンケートの数字だけで見ると、「議会は機能している」「首長との間にほどよい緊張感がある」という意見が多数です。上記にある多数派＝「首長派」の意見が反映されているということなのではないでしょうか。それとも…



最後に、この状況をまとめて今後の方向性を示す、60代男性議員の言葉で締めたいと思います。

「住民は議会のみならず首長をも選挙することができ、その意思

を公式に反映するシステムが二つあることから『二元代表制』と言われ極めて民主的な制度と言われている。

しかし、首長優位の制度であること、過半数議決の原則などによって、本来あるべき議会の能力や議員の能力や質の低下が強く見られるようになっている。首長を強く擁護する議員の集団(会派)を与党とし、議会なくして数で議事を決定することが多くなっている。二元代表制のもと、与党、野党とかがあるべきものでもない。これは議会が行政をチェックするという大きな役割を考えていないことになる。議会の存在意義そのものが疑問となる。そもそも首長を抑制、監視する議会は首長は、首長から嫌がられ、疎まれることはあっても喜ばれることはないものであろう。それが議会の役回りであると考えます。

このような二元代表制の下、地方自治が行われますが、自治には住民自治と団体自治があります。住民自治が主であり、これを補完する意味で団体自治があるべきでしょう。今、大きな問題として、これら地方自治の本旨というものを議員自身が理解しておらず、また住民にも地方自治の重要性が理解されていないことがある。また、議事の採決に関して住民に選ばれたから代表となったから委任されたから住民の意見を聞かずとも、自らの判断で採決を決定する議員もいる。古典的代議制を今でも踏襲する議員だが、住民は選考しても、白紙委任しているわけではない。さらに首長側につき自分が政治を行って町作りをしている執行者と錯覚している議員も多い。これら議員の質の低下、住民の無関心と住民自治への理解のなさは大きな問題である。

課題としてはこれらを解決すること、さらに政策提言型議会の構築、行政の監視、住民から信頼される議会に努め、加えて、住民による議会の監視を強める必要がある。多様化する社会において、いまだにハコモノ建設に邁進する首長を支持する議会であったり改善を要する。町村議員に生活給の補償と住民の涵養(かんよう)を進めないことには地方政治はよくなると考える」

\*\*\*\*\*

議員のかただけでなく、読者の皆様にも、地方議会の課題についてのご意見をいただきたいと思っております。下のリンク先の「ニュースポスト」にぜひ、「議員アンケートについて」などを書いて、投稿をお願いします。

#### 【全議員アンケートについて】

NHKは、ことし1月から3月にかけて、全国1788の都道府県・市区町村の議会と、所属する約3万2000人の議員全てを対象とした、初めての大規模アンケートを行いました。議員のなり手不足など、厳しい状態に置かれている地方議会の現状を明らかにし、「最も身近な民主主義」である議会のあり方について、有権者一人一人に考えていただく材料にしてみようというのが趣旨です。

約60%にあたる1万9000人余りから回答が寄せられています。集計結果をもとに、テレビ番組や特設サイト、そして週刊WEBメディア「政治マガジン」などで、統一地方選が終わる4月末にかけて「議員2万人のホンネ」と題したキャンペーン報道を行っていきます。

## 衆院2補選、自民が苦戦 大阪12区は維新先行

2019/4/13 18:39 共同通信社



衆院沖縄3区補欠選挙の告示で張り出された候補者ポスター＝9日、沖縄県うるま市

共同通信社は12、13両日、衆院大阪12区、沖縄3区の補欠選挙に関する電話世論調査を実施し、取材結果を加味して情勢を探った。大阪12区は日本維新の会の新人藤田文武氏(38)が他の3候補に先行する。沖縄3区は無所属新人で野党の支援を受ける屋良朝博氏(56)が、自民党新人の島尻安伊子氏(54)の優位に立つ。両選挙区で自民党候補が苦戦している。

どちらも3割以上の有権者が投票先を決めておらず、情勢は今後変化する可能性がある。

## 大阪12区、維新候補やや先行 沖縄3区は野党系リード

朝日新聞デジタル 2019年4月13日 22時05分

21日投開票の衆院大阪12区と沖縄3区の補欠選挙について、朝日新聞社は12、13の両日、電話調査を実施し、取材で得た情報と合わせて情勢を探った。大阪12区は維新新顔の藤田文武氏がやや先行し、自民新顔の北川晋平氏が激しく追っている。無所属前職の樽床伸二元総務相、無所属での立候補となった共産前職の宮本岳志氏はいずれも厳しい戦い。沖縄3区は無所属新顔で野党系の屋良朝博氏がリードし、自民新顔の島尻安伊子元沖縄北方相が懸命に追う。

どちらも有権者の3～4割が投票態度を明らかにしておらず、情勢は変わる可能性がある。

大阪12区補選で投票態度を明らかにした人を分析すると、藤田氏が維新支持層の8割を固め、無党派層の5割近くから支持を得ている。北川氏は自民支持層の7割を固めたが、推薦を受けた公明支持層はほぼ半数の支持にとどまっている。樽床氏は公明支持層から一定の支持を得て、無党派層の4割弱に浸透。宮本氏は共産支持層の大半を固めたが、無党派層の支持は広がっていない。

沖縄3区補選は、朝日新聞社と沖縄タイムス、琉球朝日放送(QAB)が共同で調査を実施。投票態度を明らかにした人を分析すると、共産や社民などの政党や保守系政治団体などをつくる「オール沖縄」勢力が支援する屋良氏は、野党支持層をほぼ固め、無党派層から7割強の支持を得ている。自民支持層の2割にも浸透。70歳以上は7割が支持する。一方の島尻氏は自民支持層の8割から支持を得ているものの、無党派層の支持は2割台にとどまる。

沖縄3区補選の情勢調査とともに実施した世論調査で、今度の補選で何を一番重視するか五つの選択肢から一つ選んでもらったところ、「基地問題」が4.4%と最も多かった。次いで「経済の活性化」2.2%、「医療や子育てなどの福祉政策」1.8%、「人



柄や経歴」7%、「支援する政党や団体」4%だった。沖縄3区は、政府が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の移設工事を進めている名護市辺野古を抱えており、基地問題への関心の高さが目立った。

その辺野古移設については反対61%で、賛成24%を大きく上回った。辺野古埋め立てをめぐる県民投票の後も工事を続ける安倍政権の姿勢については「評価しない」が68%で、「評価する」は17%だった。

◇

〈調査方法〉 12、13の両日、コンピューターで無作為に作成した固定電話番号に調査員が電話をかけるRDD方式で、選挙区内の有権者を対象に調査した。有効回答と回答率は、大阪12区358人、59%▽沖縄3区454人、52%。

## 与党「政治の安定」強調＝野党は「付度」批判―衆院補選、最初の週末

時事通信 2019年04月13日 17時27分

夏の参院選を占う試金石となる衆院大阪12区、沖縄3区の両補欠選挙は13日、告示後最初の週末を迎えた。21日の投票票に向け、与野党は街頭などで懸命に支持を訴えた。

自民党は人気弁士の小泉進次郎厚生労働部会長が大阪入り。京阪電鉄寝屋川市駅前前で街頭演説し、「私は国会を変えたい。変えるには新しい世代が必要だ」と、30代である自民候補への一票を呼び掛けた。小泉氏と並んだ公明党の石田祝稔政調会長は「政権が安定してこそ、しっかりと政治ができる」と力を込めた。

投票日の直前には、安倍晋三首相（自民党総裁）も応援に駆け付ける予定。首相は13日、東京都内で主催した「桜を見る会」で、「政治の安定の下、政策を前に進めたい」と強調した。

一方、立憲民主党の枝野幸男代表は両補選の選挙区には入らず、統一地方選後半戦のてこ入れのため金沢市を訪問。道路事業をめぐる「付度（そんたく）」発言で国土交通副大臣が交代したことを念頭に、「お友達同士で付度し合い、必要かどうか疑問な道路が造られている。こういう政治状況をまっとうにしないといけない」と訴えた。

日本維新の会の松井一郎代表（大阪市長）も京阪電鉄寝屋川市駅前前で街頭演説し、「超高齢社会に安心して生活できるよう、この国の仕組みを見直したい」と主張。10月の消費税増税の凍結や、国会議員の定数削減を求めた。

## 支持拡大に両候補奔走 衆院沖縄3区補選 投票日まで1週間

琉球新報 2019年04月15日 05:00



有権者に政策などを訴え街頭演説する屋良朝博氏（左）と島尻安伊子氏＝14日午後、沖縄市内

21日投票の衆院沖縄3区補欠選挙は14日、告示後最後の

日曜日を迎えた。「オール沖縄」陣営が推すフリージャーナリストで新人の屋良朝博氏（56）＝無所属、元沖縄北方担当相で新人の島尻安伊子氏（54）＝自民公認、公明、維新推薦＝の両候補はそれぞれ、沖縄市やうるま市を中心にスポット演説を展開したほか、イベント会場、会合などに繰り出し、有権者に支持を訴えた。

告示後最初で最後の週末ということもあり、中央政党の幹部らも相次いで来県し、候補者と共に遊説を繰り返した。

屋良氏は午前9時前から沖縄市内の住宅地を中心に路上を歩きながら演説を開始。午後には玉城デニー知事や自由党の小沢一郎代表らと合流し、支持を呼び掛けた。

屋良氏は「記者として長い間、米軍の運用や安全保障の問題を研究してきた。辺野古を埋め立てなくても普天間を返還する解決策を提示する」と強調し、公約の柱に据える辺野古新基地建設阻止を訴えた。

島尻氏は午前8時半から金武町で開催されたシニアサッカー大会に出席。午後には、公明党の斉藤鉄夫幹事長や西銘恒三郎衆院議員（自民）らと合流し、支持を呼び掛けた。

島尻氏は「南北格差を解消し、均衡ある沖縄の発展を目指す。現行の沖縄振興で抜け落ちていた『子育て・医療・福祉・介護』の部分に光を当てる」と主張し、子どもの貧困撲滅などを訴えた。

しんぶん赤旗 2019年04月14日（日）

## 「本気の共闘」で政治変えよう 市民と野党 多彩な応援 衆院大阪12区補選 宮本候補駆けめぐる



（写真）森友問題追及チーム

の野党議員らと訴える宮本たけし候補（左から2人目）＝左端は森ゆうこ、（右から）たつみコータロー、福島伸享、川内博史の各氏＝13日、大阪府寝屋川市

衆院大阪12区補選（21日投票）で、市民と野党の統一候補・宮本たけし氏（59）＝無所属＝は13日、選挙区の寝屋川市、大東市を駆けめぐり、街頭から「野党が力を合わせてウソとごまかしの安倍政治を変えましょう」と支持を呼びかけました。

宮本候補は「森友問題追及ウソつく政治許さない。国会チームスピーチ」や「女性と若者が輝く政治を、国会議員と市民のリレートーク」での野党国会議員との街頭演説をはじめ、各地で訴えました。

演説で宮本候補は「野党共闘は反対ばかりの共闘ではない。野党に力を与えていただいたら新しい政治が始まります。新しい希望ある政治を開くことができます」と述べ、「景気が下り坂の時、10月からの消費税10%増税は中止します。消費税増税に頼らない新しい財源をみんなでつくりだしたい」と述べ、「野党は一致結束して新しい政治をすすめます」と力を込めました。

京阪寝屋川市駅前で演説を聴いていた女性（66）は「野党各党の訴えを聞いて『本気の共闘』が伝わってきた。絶対宮本さんに勝ってほしい」と話していました。

自公維も総力

一方、自民党候補陣営は、小泉進次郎厚生労働部会長はじめ自民、公明両党の国会議員、地方議員を動員し、寝屋川市駅前まで街頭演説。各弁士は「甲い合戦」「中央とのパイプ」を強調。小泉氏は世襲批判をけん制したうえで「（自民党は）勢いがある時もない時もある」と安倍政治批判や大阪維新の勢いを意識し、「新世代の力で国会改革を」と訴えました。

維新候補は、松井一郎大阪市長（維新代表）、吉村洋文知事（維新政調会長）の応援を受け、寝屋川市駅前などで街頭演説。「大阪の自民党はだらしがない。（『大阪都』構想反対で）共産党と組んで、どうやって（自民党党是の）憲法改正ができるんですか」（吉村氏）と安倍政権に改憲勢力としての維新の存在を売り込みました。

しんぶん赤旗 2019年4月14日(日)

## 大阪12区 宮本候補語り合う 野党が 女性が 若者が 学費無償化へ希望の言葉 巨大企業や政権に動じず

「うそつく政治を許さない」「若者と女性の願いを国会へ」。 「たけし」「たけし」コールが湧きあがった13日の大阪府寝屋川市の京阪寝屋川市駅前、京阪香里園駅前。衆院大阪12区補選（21日投票）で奮闘する無所属、宮本たけし候補を必ず国会に送り返そうと、宮本候補とともに森友疑惑を追求してきた野党の国会議員や女性国会議員らがリレートークしました。

うそ・忖度政治 もうサヨナラや



(写真) 声援にこたえる (左から) 吉良、

森、宮本、長崎、田村の各氏＝13日、大阪府寝屋川市  
寝屋川市駅前に「森友疑惑解明」「うそつき、忖度（そんたく）政治をやめさせよう」との声が響きました。学校法人「森友学園」（大阪市）に、国が国有地を8億円も値引きして売却した問題を、野党合同ヒアリングなどで追及してきた野党国会議員が宮本候補とともにスピーチしました。

司会は、宮本候補と第一線で森友事件を追及してきた日本共産党の「森友事件追及チーム」のたつみこたロー参院議員。「安倍政治とその補完勢力対、市民と野党の共同候補、宮本候補の対決構図が浮き彫りになる中で、森友事件全容解明、ウソや忖度は、もうさよならと、この場所から訴えていきたい」と呼びかけました。

「この選挙は、安倍夫妻にお灸（きゅう）をすえる選挙です」。

福島伸享前衆院議員は、一度決裁が下りた公文書は「歴史の文書」であり、それを書き換えることは「歴史を書き換えることだ」と強調。「この国の権力の仕組みが全ておかしくなっている。その一端が、この森友問題です」と訴えました。

「宮本さんは、国会になくてはならない存在です」。自由党の森ゆうこ参院議員は「森友問題で分かったことは、安倍夫妻のお友だちであれば、国有財産をタダ同然で払い下げてもらえ、友だちでなくなれば牢屋（ろうや）にぶち込まれるということ。自分と友だちだけが得をする。これが忖度政治です。黙ってられないじゃないですか」と声をあげました。

立憲民主党の川内博史衆院議員は「宮本さんには、どれだけ尊敬してもし尽くせない」と応援。「何に使われているかわからない税金の無駄遣いや、ごまかしを覆い隠すために安倍首相をはじめ、政権のみなさんはウソをついている。これが今の政治の状況です。この許し難い状況に敢然と立ち向かい、たくさんの結果を出してきた議員の代表格が宮本たけしさんであると確信しています」と激励しました。

「いても立ってもいられず応援に来た」という京都市在住の女性（67）。公文書や統計データを改ざんしても責任を取らない安倍首相は「早く辞めてほしい」と語気を強めます。宮本候補については「無所属で立候補して、すごい決断はった。安倍政治を終わらせてほしい」と声を弾ませます。

「宮本さんを」次々トーク

香里園駅前では、「女性と若者が輝く政治を宮本たけし候補とつくりたい」と女性国会議員らのリレートークが行われました。

「ものすごい調査能力、洞察力、追及力があるのが宮本さん。本気の本物の共闘で必ず国会に戻りたい」と自由党の森ゆうこ参院議員。安倍首相の忖度（そんたく）政治から「市民や子どもを幸せにする政治に変えないといけない」と語りました。

社民党の長崎由美子府連幹事長は、強行採決をくり返す安倍内閣について「国民に何をやっても無駄だと思わせる。いわばDV内閣だ」と指摘。「人間の誇りを取り戻すために、力を合わせて宮本候補を国会に押し込めよう」と訴えました。

「宮本さんが『学費無償化と一緒に頑張ろう』と言ってくれて希望がわいた」（宮本たけしサポーター）、「学費無償化を実現するみんなの候補者、宮本さんを国会に送りたい」（新日本婦人の会大阪府本部長の杉本和さん）と述べました。

日本共産党の田村智子副委員長は、レオパレス21の建築基準法違反問題の被害者の声を国会で取り上げた宮本候補の活動を紹介。「巨大企業や安倍政権に動じず、庶民の立場にたって追及してきた。市民と野党の共闘で勝ち抜こう」と訴えました。ジョン・レノンの「パワー・トゥ・ザ・ピープル」を歌い、激励しました。

「安倍政権の教育無償化は看板倒れだ」と指摘したのは、同党の吉良よし子参院議員。高学費に苦しむ学生の実態を紹介し、「学費値下げに真正面から訴える宮本さんと一緒に学費無償化をめざそう」と語りました。

宮本候補は、高すぎる学費を放置し、消費税増税を進める安倍政治は「毎日子どもや女性らを泣かせている」と語りました。学



費の段階的無償化や返済不要の奨学金の実現は野党で一致できると指摘。「野党共闘は希望ある、未来を開く共闘です。安心して野党共闘に、宮本たけしにご一票を託してください」と訴えました。

演説を聞いていた女性（39）は、「消費税が増税されたら、私の収入では生活できない。宮本さんは庶民目線で問題に取り組んでくれる人だと思います。頑張してほしい」と語りました。

しんぶん赤旗 2019年4月13日(土)

### 落語家・宗教者・弁護士・政治家... 宮本氏に多彩な応援 寝屋川で演説会



(写真)

「市民と野党の本気の共闘をつくりあげよう」と呼びかける宮本たけし候補＝11日、大阪府寝屋川市

衆院大阪12区補選（21日投票）で、宮本たけし候補（無所属）の個人演説会が11日夜、寝屋川市で開催されました。演説会には、落語家、宗教者、弁護士、女性、若者、政治家と多彩な人びとが駆けつけ、会場が参加者であふれました。

浄土真宗の加藤順教僧侶は「安倍首相はやること全てが憲法違反。それに黙っている与党も憲法違反だ」と憤ります。加藤氏は、世の中のさまざまな問題を正面から受け止めて、私たちのためにたたかい抜けるのは、宮本さんだと激励しました。

森友問題に取り組んできた阪口徳雄弁護士は「宮本さんは国会での質問を聞いていても、ピカーです。絶対この選挙で宮本さんが勝たなければならない」と訴えかけました。社民党大阪府連の酒井弘行副代表は「議員が自ら籍を抜けて、挑戦者になることの勇気に敬意を表したい」と語りました。

宮本候補は「何としても政治を変える市民と野党の本気の共闘をつくりあげ、安倍内閣に目にもものを見せようじゃありませんか」と力強く訴えました。

9歳の娘を連れて参加した女性（40）＝寝屋川市＝は涙を流しながら「強い決意を感じた。共産党（国会議員）の宮本さんがいなくなるのは、内心さびしい。必ず勝利してほしい」と話しました。

宮本候補激励・連帯 いい心が顔に出ている 浄土真宗僧侶 加藤順教さん



念仏者の立場から見て、憲法は仏さまの願いです。しかし、安

倍首相は言うことやること全部憲法違反です。黙って見ている与党も憲法違反です。

私は沖縄の辺野古に4度座り込みに行きました。おかしい光景です。工事に反対するのが日本人なら、工事を邪魔するなって守る機動隊も日本人。日本が工事にお金を出すが最終的に基地を使うのは米国。こんなバカなことがあるか。この問題を正面から受けて働いてくれるのは宮本たけしさんだと思います。

先日事務所で宮本さんにお会いして、宮本さんは顔がいいなと思いました。人間は「思い内にあれば色外に現れる」といいます。宮本さんが心に持っているものが本当にいいものだから、顔に出てきているのです。

これがまさに民主主義 社民党大阪府連副代表 酒井弘行さん



私も議員ですが、議員が自ら籍を抜けて挑戦者になることは非常に勇気がいります。まず、そのことに敬意を表したいです。この衆院12区大阪補選と沖縄3区は、極めて重要な選挙です。夏に行われる参院選挙の試金石の要素が多分にあります。

安倍政権の横暴は、絶対的な民主主義である沖縄の県民投票の結果を完全に否定しているもので、独裁以外の何物でもありません。野党共闘をすると「野合」などと言います。政党の主義主張が違って当然です。その政党が集まり「安倍政権のここが絶対だめだ」と一枚岩になるのですから、これがまさに民主主義ではないでしょうか。

森友問題の追及ピカー 弁護士 阪口徳雄さん



私は弁護士を50年近くやっていますが、国会議員の応援演説は、初めてです。野党統一候補であるからこそ応援演説ができません。

私は森友問題をずっと追及してきました。その中で宮本たけしさんを知りました。宮本さんの本質をズバリ追及する国会質疑はピカーです。

森友問題では、安倍政権を守るために財務省が虚偽答弁、文書改ざんを悪いと思わないで平然とやっている。安倍政権を守るためにやっている末期現象です。

これを変えようと思ったら参院選で野党統一候補を全部出して、与党をひっくり返すことです。この選挙で、野党統一候補が出た宮本さんが絶対に勝って突破口を開いてほしいと思います。

しんぶん赤旗 2019年4月14日(日)

### 「オール沖縄」底力発揮を 衆院沖縄3区補選 ヤラ候補勝利へ訴え



(写真) 声援にこたえる (右から)

市田、ヤラ、高良、赤嶺の各氏＝13日、沖縄県沖縄市市田氏応援 “圧倒的民意を国政に” 自転車対話



(写真) 自転車で移動して支持を訴える

ヤラともひろ候補＝13日、沖縄県沖縄市衆院沖縄3区補選(21日投票)の必勝に向け、同県名護市辺野古米軍新基地建設の阻止と、宜野湾市の米軍普天間基地の即時閉鎖・返還を訴える「オール沖縄」のヤラともひろ候補は13日、沖縄市などで街頭演説し「沖縄の圧倒的に示された民意を国政へ持っていく。玉城デニー知事を支え、新しい沖縄を一緒に築きましょう」と気迫の訴えをしました。

ヤラ氏は同市内を自転車で移動し、集まった市民らと固い握手。「ヤ・ラ!ヤ・ラ!ヤ・ラ!」と応援のコールが起きました。

ヤラ氏は「辺野古の自然を絶対に壊してはいけない」と新基地建設反対を強調し、「普天間(基地)の問題も終わりにさせる」と力を込めました。

安倍政権が狙う消費税10%への引き上げについて「子育て世代を直撃し、年金生活のお年寄りにも重い負担だ」と反対の立場を示しました。

ヤラ氏は基地容認と引き換えの振興策で県民を言いなりにさせようとする政治の在り方を厳しく批判。「一人ひとりの声を大事にする、民主主義を大事にする政治を、沖縄から全国に訴えていきましょう。ぜひとも国政の場へ押し上げていただくようお願いいたします」と呼びかけました。

しんぶん赤旗 2019年4月14日(日)

### 沖縄3区補選 辺野古新基地 推進の自民候補 公約破り・民意背信の数々 “予算やらぬ”地方自治否定の姿勢も

21日投票の衆院沖縄3区補選に向け、沖縄県名護市辺野古米軍新基地建設の反対を明確に訴える「オール沖縄」のヤラともひろ候補に対し、自民党の島尻安伊子候補は米軍普天間基地(同県宜野湾市)を「辺野古に移す」と、新基地建設強行の立場です。参院議員時代に辺野古新基地反対の公約を真っ先に投げ捨て、県民多数の民意を裏切り、背信行為を続けている人物です。

島尻氏は2010年の参院選で「(普天間基地の) 県外移設に取り組む」と公約し当選。しかし、内閣府政務官当時の13年4月22日の参院予算委員会で「(日米) 合意通り辺野古崎(への新基地建設)ということ」と公約破りを宣言しました。

### 建設容認に転換

島尻氏の公約破りを皮切りに同年11月25日、自民党沖縄選出衆参5議員が同党本部で当時の石破茂幹事長と会談し、辺野古新基地建設容認に転換。その後の仲井真弘多知事(当時)による新基地建設の埋め立て承認につながります。

14年1月の名護市長選で新基地反対を掲げた稲嶺進市長(当時)の勝利後、島尻氏は、2月5日の予算委員会の質疑で「一日も早い辺野古への移設を」「(新基地の) 工事を早く進めるべきだ」と政府に要求しました。

### 取り締まり要求

また、新基地反対の抗議行動に対し「海上保安庁、警察の積極的な対応が必要だ」と述べ「先んじて対策を打つというのが必要だ」と事前の取り締まりを執拗(しつよう)に求めました。

15年12月15日には沖縄北方担当相としての記者会見で、新基地に反対する翁長雄志知事(当時)の姿勢と沖縄振興予算との関連について「予算確保について全く影響がないものではない」と発言。「国に逆らう者には予算をやらない」と、露骨な地方自治否定の姿勢を示しました。

### 【島尻氏 ほかにも...】

○新基地建設関連工事の受注業者4社から献金を受け取る(12年)

○参院予算委員会で集团的自衛権の行使容認の「閣議決定」をめぐり、「今回の閣議決定、特に集团的自衛権について学校現場で間違った、子どもたちが誤解をする表現で授業が行われているという情報が入ってきている」「学校の教師の主観的な言動は慎むべきだ」と質問(14年)

○参院選のあった10年に、自らの名前と顔写真の入ったカレンダーを無料配布していたことが分かり、公選法(寄付の禁止)に抵触する可能性が浮上(15年)

○沖縄北方担当相会見で「舞雩(はぼまい) 諸島」を読めず、「はぼ…なんだっけ」と詰まる(16年)

しんぶん赤旗 2019年4月13日(土)

### ヤラ候補必勝で新基地阻止 衆院沖縄3区補選 「やんばる統一連」が名護で集会

衆院沖縄3区補選(21日投票)に向けて「やんばる統一連」は11日、沖縄県名護市で集会を開きました。玉城デニー県政を支え、同市辺野古米軍新基地建設に反対する「オール沖縄」のヤラともひろ候補の必勝で、民主主義を踏みにじる安倍政権を倒し、新基地建設をストップさせようと誓い合いました。



(写真) 集会で勝利を訴える、

ヤラともひろ候補＝11日、沖縄県名護市

ヤラ氏は「新基地建設で辺野古を埋め立てる必要はない」と強



調。フィリピンに留学中、市民がマルコス大統領（当時）の独裁政権を打倒した「ピープル・パワー革命」を経験したことを紹介し、「一人ひとりの意思が一つにまとまれば、間違った政治をただすことができる。民主主義を沖縄から全国に広げよう」と訴えました。

稲嶺進・前名護市長は「ヤラさんを国会へ送り出し、沖縄が踏みつけにされている状況を変えよう。後で後悔しないよう、今できることを頑張ろう」と呼びかけました。

小林武沖縄大学客員教授が講演し、日米安保条約と地位協定によって米国から抑圧されている日本政府が、沖縄の民主主義を抑圧する「二重の抑圧」があると指摘。「ヤラ候補を勝利させ、安倍政権を終わらせることが、民主主義を実現していく大きな一歩になる」と強調しました。

### 【衆院沖縄3区補選】政策比較（1）基地問題 屋良氏「工事直ちに中止を」 島尻氏「苦渋の選択で容認」

沖縄タイムス 2019年4月14日 06:05

21日投票の衆院3区補選は、米軍普天間飛行場の返還方法や辺野古新基地の賛否などが争点となる。無所属で「オール沖縄」勢力が推すフリージャーナリスト屋良朝博氏（56）と、自民党公認で元沖縄担当相の島尻安伊子氏（54）＝公明、維新推薦＝に主要政策を聞き、比較する。（3・29面に関連）

米軍基地問題	
島尻安伊子氏	屋良朝博氏
○賛成 ×反対 △その他	
○	×
○	×
○	×
○	○

#### <辺野古>

名護市を選挙区に含む衆院3区。今回の補欠選挙の主要争点の一つが辺野古新基地建設への賛否だ。

玉城デニー知事の後継である屋良氏は「反対」の理由として「埋め立て工事を直ちに中止し、県と日米両政府間で、撤退を含む米海兵隊の沖縄駐留問題の抜本的解決策を協議すべきである」と回答した。

沖縄担当相を務めた島尻氏は「賛成」を選択。「普天間飛行場の危険性を一刻も早く除去するため、苦渋の選択ではあるが、これを容認せざるを得ない。基地の整理縮小を確実に実行していきたい」と説明した。

#### <普天間>

名護市辺野古への新基地建設を巡っては、賛否が分かれた両氏。世界一危険といわれる米軍普天間飛行場の閉鎖・返還を巡っては、ともに「賛成」を選択したが、解決方法では、立場に違いが見られた。

屋良氏は「海兵隊の運用見直しで、普天間飛行場の県外・国外移転は実現できる。普天間飛行場の運用を即時停止させる」と回答した。

島尻氏は「普天間飛行場は住宅の真ん中にあり、速やかに危険性を取り除くことが必要。普天間飛行場の全面返還を実現したい」

と答えた。

#### <高江>

約4千ヘクタールが返還された米軍北部訓練場は、六つのヘリパッド（着陸帯）建設が返還条件だった。屋良氏はヘリパッド使用に「反対」、島尻氏は「賛成」を選択。両氏ともに東村高江区への影響は懸念した。

屋良氏は「自然遺産登録に逆行している。北部訓練場自体が不要だ。貴重な自然を破壊し、地元の強い反対を抑えてまで使用する必要は全くない」と回答。

島尻氏は「北部訓練場の4千ヘクタールの返還条件なのでやむを得ないが、ヘリパッドの使用に当たっては、住宅への影響がないようにすべきだ」と説明した。

#### <地位協定>

日米地位協定に関しては、両候補とも施設管理権の日本への移管など抜本的な見直しを求めている。

屋良氏は施設管理権を定めた第3条の改定を重視する。管理権を米軍から日本に移管させ、航空特例法の撤廃と基地への国内法適用の実現を訴える。現状は「主権国家としてあるまじき姿だ」と問題視する。

島尻氏は、米軍関係容疑者の起訴前身柄引き渡しの明文化や基地に対する管理権の確立、訓練に住民意見を反映させることなどを挙げ「公明党が求めている5項目の改正実現に取り組む決意だ」としている。

### 【衆院沖縄3区補選】政策比較（2）那覇軍港の浦添移転 屋良氏「軍港自体必要ない」 島尻氏「実現の遅れを批判」

沖縄タイムス 2019年4月15日 04:50

#### <那覇軍港の浦添移転>

移転位置を巡り意見が割れている那覇軍港の浦添移転問題。

安全保障・跡地利用	
島尻安伊子氏	屋良朝博氏
○賛成 ×反対 △その他	
○	×
○	×
○	×
記述回答	記述回答

#### 安全保障・跡地利用

屋良朝博氏は「反対」の立場。県議会はこれまでに「海兵隊撤退」を全会一致で決議しており、撤退すれば軍港自体必要ないと考えた。決議実現に向け具体的なタイムラインを策定した上で、県が総合調整役を担うことを提案している。

島尻安伊子氏は「賛成」を主張する。沖縄の発展につなげるため重要な位置にある那覇軍港は早期に返還すべきだと訴える。浦添市が市案を提案したものの、県、那覇市の消極的姿勢でここまで遅れたとし、誠に遺憾だと批判する。

#### <自衛隊の先島への配備>

防衛省は「防衛の空白地帯」を埋めるためとして宮古、石垣島への自衛隊配備を進めている。宮古では建設に着手、石垣でも反対の声がある中、造成工事を始めた。

反対する屋良氏は「ミサイル部隊配備の合理性が分からない」

と疑問を呈す。島民の生活環境や命を守る対策が重要だと訴え「民意を無視したミサイル配備に反対」と主張する。

賛成の立場の島尻氏はその理由に海洋進出を強める中国の存在を挙げる。「中国の活動の活発化により、漁業などへの影響が出ている」とし、先島への自衛隊配備は必要だと訴える。

<安保体制>

米国の対日防衛義務や施設・区域の提供などが記された日米安全保障条約に基づく日米安全保障体制。

屋良氏は「反対」し「軍事同盟は共通の敵が存在して初めて成立する。その仮想敵がどこかあいまいな中、日米軍事同盟も漂流している」と時代に合わせて日本の国際的な役割などを再定義するよう提案。

島尻氏は「賛成」を選択した。その理由として「独力で日本を守れない現状では、日米安全保障体制を維持することは必要。他方、日米地位協定の改定と沖縄の基地負担の軽減もセットで必要だ」と説明した。

<跡地利用>

米軍基地跡地利用は、両氏ともに推進する考え。

屋良氏は「跡地の有害物質などの早期除去作業が必要。東アジアに開いた沖縄の国際物流拠点形成には、倉庫や製造工場、住宅地、商業施設などを置く後背地や県民生活に必要な公的施設の建設用地にいくらかでも利活用できる」とした。

島尻氏は「現行計画で千ヘクタール以上の広大な面積が返ってくる。中南部のみならず、北部の発展にもつながるよう、県民生活の向上や社会福祉、経済振興、子どもたちの成長に資する跡地利用を目指す」と沖縄と国の連携の重要性を挙げた。

## 「思いは変わっていないが…」島尻氏を支持 オール沖縄勢力と距離を置くなりゆしグループ

沖縄タイムス 2019年4月13日 08:05



金秀、かりゆし両グループの知事選、衆院沖縄3区補選への対応

4月21日投開票の衆院沖縄3区補選で、沖縄県内ホテル大手のかりゆしグループ（平良朝敬オーナー）は、自民党公認の島尻安伊子氏（54）を支持すると決めた。2014年の知事選では、名護市辺野古の新基地建設反対を訴える翁長雄志氏を全面支援したが、今回は新基地建設を容認する島尻氏を支える側に回った。

平良氏はかねて「観光は平和産業。米軍基地は沖縄経済発展の最大の阻害要因だ」と述べてきた。「新基地反対の考えは変わっ

ていない」と強調するが、対立候補で「オール沖縄」勢力が推す屋良朝博氏（56）の陣営からは「大きな矛盾だ」と批判が上がっている。

かりゆしは18年の知事選では、翁長氏後継の玉城デニー氏の支援を見送り「自主投票」とした。今回はさらに「オール沖縄」勢力と距離を置いた。

一方、14年の知事選で、共に翁長氏を支援した金秀グループ（呉屋守将会長）は、新基地建設反対の姿勢を堅持している。

18年知事選は玉城氏を支援し、呉屋会長は現在、玉城氏の後援会長を務める。今回も新基地建設に反対する屋良氏を支持する。

かりゆしの平良氏は、島尻氏支持の理由を「好調な沖縄の経済を前に進めるため」と説明。「基地問題も重要だが、経済発展も考えないといけない」と経済振興の必要性を強調する。

14年知事選は「あくまでも翁長氏だから支援した」とし「翁長氏亡き後も、オール沖縄候補を支援しなければならない理由はない」と割り切っている。

屋良氏陣営は「辺野古反対と言いながら、容認する候補者を支援することをどう説明するのか」と矛盾を指摘している。

## 自民沖縄県連が告発状を提出 屋良朝博氏に説明責任求める 衆院沖縄3区補選

琉球新報 2019年4月13日 11:08



屋良朝博氏の選挙公報などで経歴の一部が誤っていたことを受け、屋良氏を告発すると発表する自民党県連の中川京貴会長（左）、島袋大幹事長（中央）ら＝12日、沖縄市

21日投開票の衆院沖縄3区補選に立候補している屋良朝博氏（56）＝無所属・新＝の選挙公報などに誤った経歴が記載されたことを受け、自民党県連は12日、「公職選挙法第235条の虚偽事項の公表罪に当たる」として金城暁県連事務局長名で沖縄署に告発状を提出した。今後、県警が告発状を受理するか判断する。

同日、沖縄市の花城大輔県議（自民）の後援会事務所で会見を開いた島袋大幹事長は、屋良陣営が告示前に発行したビラにも屋良氏の経歴に「虚偽がある」として「屋良氏本人の弁解と異なり納得できない。選挙戦の中で疑惑解明に向けて説明責任を果たすべきだ」と批判した。

島袋氏が指摘するビラは屋良氏の後援組織である「沖縄の未来を拓く会」が発行した内部資料で、ビラにも経歴がハワイ大東西センターの「客員研究員」ではなく「客員教授」と記載されている。

会見に同席した二宮千明弁護士は、屋良氏本人が事前に選挙公報などを確認していないことに「候補者本人の責任で提出するもので、本人が見ていないのはあり得ない」と批判した。

一方、中川京貴県連会長は「既に期日前投票を済ませた有権者



への説明責任もある」と語った。

## 屋良氏、選挙公報に誤記＝経歴を一部訂正＝沖縄3区補選

時事通信 2019年04月12日 19時24分



選挙公報などの誤記について説明する衆院沖縄3区補選候補の屋良朝博氏＝12日午前、沖縄県沖縄市

21日投開票の衆院沖縄3区補欠選挙で、主要野党を含む「オール沖縄」勢力の支援を受ける無所属新人の屋良朝博氏（56）が12日、沖縄県沖縄市で記者会見を開き、選挙公報などに記載した経歴に誤りがあったと発表した。ハワイ大学東西センターの「客員研究員」が正しいところ、「客員教授」と記載していた。屋良氏は「事務手続き上のミスで誤記が生じた。心からおわび申し上げます」と陳謝した。

## 屋良氏の経歴、客員研究員を客員教授と誤記載 沖縄補選

朝日新聞デジタル 2019年4月12日 20時10分

衆院沖縄3区補選（21日投開票）に立候補している無所属新顔のジャーナリスト屋良朝博氏（56）は12日、選挙公報や選挙運動に使う法定ビラ、公選はがきに記載した経歴に誤りがあったと発表した。

ハワイ大学東西センターの「客員研究員」を務めていたが、「客員教授」と記したという。編集作業は自由党の職員が担当したといい、沖縄県沖縄市で会見した屋良氏は「事務手続き上のミス」と説明した上で、謝罪した。

## 法定ビラの経歴に誤り 屋良朝博氏が会見 客員「研究員」を客員「教授」と記載 衆院沖縄3区補選

琉球新報 2019年4月12日 10:27



法定ビラなどに記載された経歴の誤記などについて説明する屋良朝博氏（左）と弁護士の大井倫太郎氏＝12日午前、沖縄市安慶田の選挙事務所

21日投開票の衆院沖縄3区補欠選挙に立候補しているフリージャーナリストの屋良朝博氏（56）＝無所属・新＝は12日午前、沖縄市安慶田の選挙事務所では会見を開き、告示日以降に発行した法定ポスターや選挙公報などに記載されている経歴の一部に誤りがあることを発表した。屋良氏は事前に法定ビラなどを確認していなかったことを認めた上で「正しい経歴が記載されるの思い込みがあった。私の落ち度だ」と述べた。

法定ビラなどには、経歴の一部に「ハワイ大学東西センター客

員教授」と記載されているが、正しくは「客員研究員」だった。同席した弁護士の大井倫太郎氏によると、自由党の職員が印刷業者と経歴の記載についてやりとりする中で誤記が生じたという。12日朝、県選挙管理委員会に対して誤記があったことを報告したという。

公職選挙法第235条では、当選を目的に選挙候補者が経歴や政党からの推薦、支持の状況などについて虚偽の事項を公にした者は2年以下の禁錮または30万円以下の罰金に処すと明記されている。ただ、大井弁護士は「故意の虚偽記載ではなく、あくまで事務手続き上のミス」と強調した上で「誤記を修正し、間違った経歴が載ったものは配布しない。再発防止に努め、誤解が生じないようにする」と話した。【琉球新報電子版】

## 玉城デニー知事、初の定例会見が就任後半年たってからなのはなぜ？

琉球新報 2019年4月13日 10:52



定例会見で今後の県政の方針などを語る玉城デニー知事＝12日、県庁

玉城デニー知事は12日、就任後初の定例会見に挑んだ。就任した昨年10月から定例会見を開催しなかったことについて「日々の案件対応などで時間が確保できなかった。今後は月に2回開けるよう努力したい」と述べた。県知事の定例会見は翁長雄志前知事の2018年1月の会見以来約1年3カ月ぶり。

知事の記者会見は「開かれた県政」を目指した大田県政時代に定例化された。

その後の稲嶺県政時代はほぼ週1回のペースで「定例記者懇談会」と称して会見を開いていた。

仲井真県政の2012年度は計14回、13年度には計10回開催され、議会を終えたことに関するコメントやイベントなどの発表が行われていた。翁長雄志前知事の下では、会見内容は質疑応答を主とし16年度に計6回、17年度に5回実施されていた。

玉城知事は「（翁長前知事は）会見で示唆を受けて仕事にもフィードバックさせていたと聞いた。さまざまな取り組みを県民や国民、海外にいる人々に伝えることは重要だ」と述べた。

## 知事政策実現へ新会議6月開催 基地や虐待防止議論

琉球新報 2019年4月13日 05:00



定例記者会見で今後の県政の方針などを語る玉城デニー知事＝12日、県庁

玉城デニー知事は12日、昨年10月に就任してから初の定例記者会見を県庁で開き、県が掲げる沖縄21世紀ビジョン実現のため「万国津梁会議」を設置し、6月上旬にも初の会議を開催する考えを示した。会議は最終的に五つの分野の会議を設置するが、基地問題、持続可能な開発を意味するSDGs（エスディーゼーズ）、虐待防止の3分野を先行させる方針だ。

玉城知事は公約に掲げる「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、国連が主導し日本政府も推進している「持続可能な開発」を国際目標に掲げる「SDGs」の推進に2019年度から全庁を挙げ取り組むことを強調した。環境、健康、食料、教育、貧困、平和など17分野の社会課題を30年までに達成することを目指し、県庁内に推進チームを設置する。

米軍が駐留するドイツ、イタリア、ベルギー、イギリスの4カ国で県が調査した他国地位協定に関する調査報告書の発行も報告した。玉城知事は「これらの国は自国の法律や規則を米軍にも適用させることで自国の主権を確立させている」と指摘した。今後予定しているアジア各国の地位協定調査で問題点をさらに明確にした上で、日米地位協定の改正に向け全国的な議論を喚起していく考えを示した。

米軍普天間飛行場の返還に日米両政府が合意してから12日で23年となったことに対し「物事を解決する最大で最良の方法は信頼に基づいた対話だ」と述べ、日米両政府に県を加えた3者による協議機関SACWO（サコワ）の設置を改めて求める考えを示した。

### 辺野古移設以外の方策を議論 6月上旬に沖縄で会議

琉球新報 2019年4月12日 13:26



記者会見をする沖縄県の玉城デニー知事＝12日午前、沖縄県庁

沖縄県の玉城デニー知事は12日の定例記者会見で、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の返還を巡り、名護市辺野古移設を条件としない方策など幅広いテーマについて有識者らと交えて議論する「万国津梁会議」を6月上旬ごろに県内で開催する考えを表明した。

玉城氏によると、人権・平和など五つの分野で協議。日米特別行動委員会（SACO）最終報告で日米両政府が合意した内容を検証するほか、在沖縄米軍の運用などについて議論。会議のメンバーは明らかにしなかった。

玉城氏は「（有識者の意見を基に）具体的、現実的な基地負担

軽減についての考え方をまとめて（政府に）示していきたい」とした。

（共同通信）

### 返還実現の見通し不透明 辺野古の軟弱地盤や返還条件も調整できず 普天間返還合意から23年

琉球新報 2019年4月12日 11:33

米軍普天間飛行場返還・移設問題の主な出来事と同飛行場所属機による主な事故

1996年 4月12日	日米両政府が普天間飛行場の返還に合意
97年 12月21日	普天間代替施設の是非を問う名護市民投票。反対票が53.8%
24日	比嘉鉄也名護市長、海上基地受け入れと辞任を表明
98年 7月23日	UH1がキャンプ・ハンセン内に墜落
99年 4月19日	CH53Eが北部訓練場沖で墜落
11月22日	稲嶺知事が移設先を名護市沿岸域と発表
28日	普天間代替施設を辺野古沿岸域とし、「北部振興事業」創設を盛り込んだ普天間飛行場移設の政府方針を閣議決定
2004年 8月13日	CH53Dが沖国大に墜落
09年 7月19日	鳩山由紀夫民主党代表が普天間飛行場移設は「最低でも県外」と表明
10年 6月28日	政府が移設先を「キャンプ・シュワブ辺野古崎地区と隣接する水域」とする日米共同声明を発表
12年 10月1日	普天間飛行場にMV22配備
13年 3月22日	沖縄防衛局が県に辺野古沿岸部の埋め立て承認を申請
12月27日	仲井真知事が埋め立て承認。普天間飛行場の5年以内運用停止を求める
14年 3月5日	AH1Wがホワイトビーチ沖で揚陸艦に着艦失敗
6月17日	MV22が長さ15mの放電装置を海上に落下
15年 1月15日	AH1Wが渡名喜島沖でミサイルランチャーなど208kgの部品を落下
3月12日	MV22が長さ16.4mのアルミ製部品を中部訓練区域で落下
10月13日	翁長知事が埋め立て承認を取り消し
28日	CH53が8.5mの部品落下
29日	沖縄防衛局が辺野古埋め立て本体工事に着手
16年 12月13日	MV22が名護市安部に墜落
17年 1月20日	AH1Zがうるま市伊計島に不時着
8月5日	MV22がオーストラリア沖で墜落
10月11日	CH53Eが東村高江に不時着し炎上
12月7日	CH53が宜野湾市の緑ヶ丘保育園の屋根に部品落下（米軍は飛行中の落下を否定）
13日	CH53Eが普天間第二小に窓落下
18年 1月6日	UH1Yがうるま市伊計島に不時着
8日	AH1Zが読谷村儀間島に不時着
23日	AH1Zが渡名喜島に不時着
2月9日	うるま市伊計島の海岸でMV22のエンジン部品発見
8月31日	県が埋め立て承認を撤回
12月14日	辺野古海域に初めて土砂が投入
19年 2月24日	辺野古埋め立ての是非を問う県民投票で反対が投票総数の71.81%の43万4149票

### 28年以降辺野古新基地完成？

日米両政府が1996年に米軍普天間飛行場の全面返還に合意してから12日で23年が経過した。日本政府は代替施設として名護市辺野古の新基地建設を強行しているが、軟弱地盤の問題などで全体の工期や工費を示すことができていない。緊急時の民間飛行場使用など返還条件も調整できておらず、当初「5～7年」と



していた返還の実現は見通せないままだ。所属機の事故が相次ぐ中、日本政府は県に全力を尽くすことを約束した「5年以内の運用停止」を県に責任転嫁する形でほごにし、普天間飛行場の継続使用のための改修工事を負担している。

米軍普天間飛行場所属機によるトラブルは後を絶たない。今年に入り既に3回、民間空港などへの緊急着陸が確認されているほか、2017年には東村高江に不時着し炎上する事故や同飛行場に隣接する普天間第二小学校に窓を落下させる事故も発生している。返還合意から23年を迎えた今も危険性の除去にはほど遠いのが現状だ。

ここ5年間でも16年に名護市安部に垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが墜落したほか、17、18年もトラブルが相次いだ。17年8月にはオーストラリア沖でMV22オスプレイが墜落し、乗組員3人が死亡。同年10月11日には東村高江にCH53Eヘリが不時着し炎上した。民間地などへの不時着や緊急着陸は17、18年の2年間で17件に上った。今年に入っても渡名喜村入砂島や鹿児島県の沖永良部空港、大阪府の伊丹空港への緊急着陸が相次いでいる。

所属機の中でも、特に安全性が懸念されていたMV22オスプレイのトラブルが目立った。

オスプレイは12年10月に普天間飛行場に24機が配備されたが、これまで2機が墜落しているほか、本紙が確認しているだけで部品落下が3件、民間空港などへの緊急着陸が10件発生している。

## 「賛成の民意もある」 県民投票結果の尊重を求める沖縄県議会に鈴木北米局長

琉球新報 2019年4月12日 11:44



【東京】外務省の鈴木量博北米局長は11日、県民投票の結果を尊重することを求めた意見書を手交した沖縄県議会代表団(団長・渡久地修県議)に対し、名護市や宜野湾市の首長選で新基地建設を推進する安倍政権の支援を受けた候補が当選したことを挙げ「(移設に)賛成の民意もありますよね」と述べた。渡久地氏が明らかにした。

鈴木氏の発言を受け、渡久地氏は「(政権が支援した候補は)辺野古移設について争点に掲げていなかった。反対派が勝った選挙では、政府はいろいろな争点があったという。到底承服できない」とその場で抗議したという。

また、決議文を手渡した米国大使館では基地負担に謝意を示されたといい、渡久地氏は「とんでもないことだ。民主主義を尊重するかが問われている」と批判した。

渡久地県議を団長とする県議会代表団6人は10、11の両日、衆参両院や防衛省、内閣府を訪ね、県民投票の結果を尊重し、埋

め立て工事を「直ちに中止」することなどを求めて3月に可決した意見書を担当者らに手渡した。渡久地氏によると外務省も含め対応者は一様に「県民投票の結果は真摯(しんし)に受け止める」と述べる一方、普天間飛行場の一日も早い返還を進めるには「辺野古移設が唯一だ」とした。

## 【点描・永田町】野党総結集に見る剛腕の落日 時事通信 2019年04月14日 19時00分



自由党の小沢一郎代表=1月24日、国会内

夏の参院選をにらんで、小沢一郎自由党代表が提唱する野党総結集が挫折しそうだ。

小沢氏がまず仕掛けた国民民主党と自由党の合併が、国民内部の「反小沢感情」の根強さから大詰めで足踏みし、野党第1党の立憲民主党を率いる枝野幸男代表も「数合わせにはくみしない」との頑(かたく)々な姿勢を崩さないからだ。

自ら采配を振るって自民党からの政権交代を2度も成し遂げた小沢氏だが、中央政界を振り回し続けた「剛腕神話」も、落日を迎えつつあるように見える。

「(安倍政権は)平気でうそをつき、全く責任を取らない。こんな政治がはびこるのは、野党がだらしないからだ」



国民民主党の本部が入るビルの屋上に設置された同党の看板=2018年7月9日、東京・永田町

行く先々で安倍政権打倒を訴えてきた小沢氏は、「過去のいきさつや恩讐(おんしゅう)を乗り越えるべきだ。私も股をくぐれと言われれば、いくらでも股をくぐる」と、熱い口調で野党総結集を訴える。

その上で、7月の参院選に向けた戦略として「一緒になるのが難しければ、『オリーブの木』(各政党の選挙協力での政権の受け皿づくり)でもいいから、一つのグループとして選挙を戦おう」と、比例統一名簿などを提案している。

「政権交代可能な二大政党制」を目指して1993年に自民党を離党した小沢氏は、非自民8党派連立政権(93年)、民主党政権(2009年)誕生の立役者となった。その一方で、旧新進党や旧民主党の分裂も主導したことから「政界の壊し屋」とも呼ばれる。

17年秋の衆院選の直前に、希望の党(当時)への合流をめぐって民進党(同)が大分裂し、選挙で生き残った希望合流組が結成したのが国民民主党。



国民民主党のインターネット番組での対談を前に、笑顔を見せる同党の玉木雄一郎代表（右）と自由党の小沢一郎代表＝1月25日、東京・永田町の国民民主党本部

100億円規模の党資金や地方組織などの民進党の遺産を受け継いだ、政党支持率は1%前後に低迷したままで、「参院選惨敗なら党消滅」（国民若手）との危機感から、玉木雄一郎同党代表も「渡りに船」と小沢氏の仕掛けに乗った。

◇在職50年の「最後の戦い」だが

小沢、玉木両氏は、まず年明けに両党の統一会派結成を決め、3月1日には新党が国民の基本政策を踏襲することを確認した上で、国由合併を正式合意した。

しかし、国民の党内手続きは「小沢氏とは一緒にやれない」（ベテラン）などの反発で難航、当初の統一地方選前の合併を断念して4月30日までの決着を目指す、「全くゴールが見えない」（幹部）のが実情だ。



党首会談の後、記者会見する国民民主党の玉木雄一郎代表（奥）と自由党の小沢一郎代表＝3月28日、国会内

しかも、ここに来て国民内部の混乱に付け入るような、立憲民主党側による切り崩し工作も次々表面化し、総結集どころか旧民進系同士の感情的対立もエスカレートしている。

玉木氏は「もう足の引っ張り合いは終わりにすべきだ。すぐ喧嘩（けんか）する人たちだと思われる」と嘆き、小沢氏も「もっと権力奪取に執念を燃やすべきなのに、野党内の主導権争いに終始している」と苛（いら）立ちを隠さないが、総結集への壁は高くなる一方だ。

剛腕を誇った小沢氏だが、自由党は国会議員5人という「政党要件」を、辛うじて満たしているだけの小政党。このため合併協議でも小沢氏は玉木氏の意向を尊重し、機会を増やす2人そろってのテレビ出演などでも、玉木氏を前面に立てて自らは控えめな発言に徹している。

ただ、当選4回の玉木氏と当選17回の小沢氏では、「格が違い過ぎる」（自由幹部）ことは否定しようもなく、優男の玉木氏と強面（こわもて）の小沢氏は容貌の対比も際立つため、国民内部には「ツーショットを続ければ、玉木代表が小沢氏に操られている印象が広がる」（若手）との不安も消えない。

5月に寿寿（77歳）を迎え、年末には在職50年となる小沢氏は「もう一度政権交代を見るまで死ねない」となお執念を燃やすが、現状では「悲願達成は見果てぬ夢」（首相経験者）との声が支配的だ【政治ジャーナリスト・泉 宏／「地方行政」4月8

日号より】。

## 参院選向け野党共闘を 小沢、又市両氏が会談

日経新聞 2019/4/12 20:58

自由党の小沢一郎共同代表と社民党の又市征治党首は12日夜、都内で会談し、夏の参院選に向け野党共闘を進める認識で一致した。小沢氏は記者団に「みんなでまとまって一生懸命やらないとダメだ」と述べた。又市氏も「お互いに立憲民主党や国民民主党にも言うべきことは言っていないといけない」と語った。

## 菅元首相の解党要求「愚か」 国民民主・大塚氏

日経新聞 2019/4/12 17:49

ご覧ください。

詳しくはこちら

国民民主党の大塚耕平代表代行は12日の記者会見で、立憲民主党の菅直人元首相がツイッターで国民民主に解党を求めたことについて「愚かだ」と批判した。菅氏がかつて四国霊場を巡ったことに触れ「もう1度お遍路したほうがいいが、弘法大師に拒絶される」と語った。菅氏は9日に「国民民主党は政治理念が不明確なので解散し、参院選までに個々の議員の判断で立民との再結集に参加するのが望ましい」と投稿している

## 枝野氏、菅元首相を注意 国民民主へのツイートで

日経新聞 2019/4/13 15:10

立憲民主党の枝野幸男代表は13日、国民民主党は解散すべきだとツイッターに投稿した立民の菅直人元首相を口頭で厳重注意し、10日に国民の玉木雄一郎代表に謝罪したと明らかにした。金沢市で記者団に「政党がどう行動するかはそれぞれの政党の判断だ。改めて国民民主党におわびし、こうしたことを繰り返さないようにしたい」と語った。菅氏は枝野氏に対し「迷惑をかけて申し訳ない」と話したという。

【共同】

## 枝野理論と「自民支持層」

日経新聞 2019/4/14 2:00



「小選挙区制の下で、もし安倍を辞めさせたら次は枝野になってしまう、と自民党支持層が思うから内閣支持率が落ちない」と立憲民主党・枝野代表は分析する＝共同

野党第1党・立憲民主党の枝野幸男代表が昨年来、考え続けていることがある。「体感と違って内閣支持率が落ちない。10～15年前ならものすごく落ちる問題が起きてても下がらない」

2018年は学校法人「森友学園」を巡る財務省の文書改ざんが発覚し、野党は安倍晋三首相を追及した。今年は厚生労働省の統計不正があった。枝野氏によると自民党支持者からも「何とかして」と声が届き、手応えを感じたという。



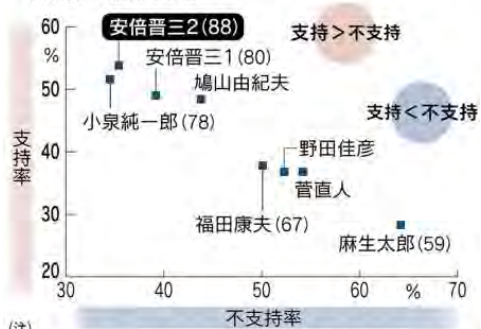
ところがいくら追及しても支持率は下がらない。昨年来の日本経済新聞の世論調査で不支持率が支持率を上回ったのは、森友問題で証人喚問などがあった18年3～5月と7月だけだ。第2次安倍政権が発足した12年12月から19年3月の調査で他に不支持が上回ったのは5回あるが、2カ月以内に逆転を解消している。平均値も高い。01年の小泉政権以降の8つの政権で発足後から退陣までの平均支持率を計算すると、今の政権は約54%。小泉政権の約52%を上回り最高値だ。不支持率も約36%で最低の小泉政権に近い水準だ。

首相の経済政策「アベノミクス」で景気が堅調だという背景はある。とはいえ不祥事があった場合の支持の底堅さは特徴的だ。

枝野氏は考え抜いた末に「自民党支持者は小選挙区制を本能的によく分かっている。いまはガチガチの自民党支持が35～40%ぐらいいるのではないか」と思うようになったという。

1996年の衆院選から導入した小選挙区制は他候補より1票でも多ければ当選する。複数が当選する中選挙区制に比べてわずかな世論の変化で一方向的な勝敗が付きやすい。09年の政権交代の記憶が残る自民党支持層は政権への支持を失うリスクが身に染みている。「小選挙区制の下でもし安倍を辞めさせたら次は枝野になってしまう、と自民党支持層が思うから支持率が落ちない」と分析する。

小泉政権(01年)以降の各政権の内閣支持率と不支持率の平均値



(注) 名前は首相。日本経済新聞社の世論調査で各政権の内閣支持率と内閣不支持率について平均値を算出した。安倍晋三1は第1次政権、2は12年12月の第2次政権発足～19年3月まで。カッコ内は自民党支持層の内閣支持率

真偽はどうか。01年以降の自民党政権について自民党支持層の支持率と不支持率の平均を調べてみた。

12年12月～19年3月の自民党支持層の内閣支持率は平均で約88%だ。同じ長期政権だった小泉政権の約78%を10ポイントも引き離す。自民党支持層の内閣不支持率はいまは平均約7%。これも約13%と低かった小泉政権の半分程度しかない。

自民党の政党支持率も高い。いまの政権下では平均で約43%。

01年以降でトップレベルだ。政党支持率の最高は56%で最低は35%。いずれも01年以降で最も高い。最低の35%は枝野氏が話す「ガチガチの自民党支持層」と同じ数値だ。「枝野理論」の通り、自民党支持層が結束して政権を支える実態が浮き彫りになる。一方、一連のデータは「ポスト安倍が長く不在だから」という説明もつく。自民党内で安倍首相に代わる有力者がいて「早く交代を」と望む声が多ければ、自民党支持層の内閣支持率は下がる可能性がある。

「55年体制」と呼ばれた自民党長期政権のときは複数の総裁候

補が競い、自民党内で政権を打倒する動きもあった。当時は最大野党は社会党が衆院過半数を得るための候補者数をそろえていない時代だ。自民党は内閣支持率の下落や政権交代を気にせず、激しい党内抗争をしていた。

いま野党は割れ、政党支持率も高くない。自民党の1強他弱と言われる。今後、野党が警戒すべきことは何か。内閣支持率が下がっても、自民党支持率が高止まりする状況だ。それは自民党やその支持層が「野党への政権交代を心配する必要はない。安心して党内政局にいそしめる」と判断したサインかもしれない。

(政治部次長 佐藤理)

## 立憲、参院選公約作り本格化＝「ボトムアップ」重視

時事通信 2019年04月14日06時37分

立憲民主党は夏の参院選公約作りを本格化させた。今月2日に党公約となる「立憲ビジョン2019」の策定委員会を設置、1日から党内論議を開始した。作成に当たっては一般党員らの声を広く公約に反映させる「ボトムアップ」を重視。6月上旬の完成を目指し、作業を加速させる。

11日の第1回会合で、公約策定委の長妻昭委員長は「ボトムアップで国民の意見を聞き、果敢に打ち出すプロセスをたどりたい」と強調した。

会合では重点分野などについて意見交換。出席者からは、小泉政権の郵政民営化を引き合いに、「単に政策を訴えるだけでなく、覚悟とセットであることが大事だ」との声が上がった。

立憲は昨年11月以降、各地で50～200人規模のタウンミーティングを開催している。今月上旬には一般党員に当たる「パートナーズ」向けにウェブアンケートも実施した。こうした取り組みで集まった声を公約に取り入れたい考えだ。

勝負を左右する改選数1の「1人区」が地方に多いことを踏まえ、政策の柱には農林漁業分野を含める方向だ。安倍政権の看板政策「アベノミクス」の対抗軸となる経済・社会保障政策も打ち出す方針。原発ゼロも訴える。

## 市議選候補、女性割合最高＝無投票当選者数は低下一統一選後半戦

時事通信 2019年04月14日23時55分

総務省は14日、統一地方選の後半戦として同日告示された294市議選の立候補状況を取りまとめた。総定数6726に対して、8063人が立候補を届け出た。女性は前回2015年を上回る1394人で、候補者数に占める割合は17.3%と過去最高となった。無投票当選者数は前回は下回る182人だった。

18年5月施行の「政治分野における男女共同参画推進法」では、議員選挙で男女の候補者数を極力均等にするよう政党に求めている。党派別の女性候補者の割合を見ると、共産党が39.0%で最も高く、公明党も3割を超えた。一方で自民党は7.1%にとどまった。旧民進党から分裂した立憲民主党は24.2%と候補者全体の女性割合を超えたが、国民民主党は14.3%で下回った。

無投票となったのは、10道県の11市議選。愛知県ではみよ

しと長久手の2市で、有権者が一票を投じる機会を失った。

### 欧州4カ国、国内法で米軍活動を規制 沖縄県が調査報告

朝日新聞デジタル山下龍一、清宮涼 2019年4月12日18時29分

駐留米軍に対する5カ国の対応比較 沖縄県まとめ

	国内法の適用	基地の管理権、立ち入り	訓練規制	航空機事故
日本	×	立ち入り権明記なし	航空法の特例により規制できず	捜査などを行使する権利を行使せず
ドイツ	○	立ち入り権明記	独の承認必要	独が現場規制、調査に関与
イタリア	○	伊司令官が常駐し、全区域に立ち入り可	伊の承認必要	伊検察が証拠品押収
ベルギー	○	自治体の立ち入り権確保	ベルギー軍より厳しく規制	(未確認)
英国	○	基地占有権は英国、英司令官が常駐	英側による飛行禁止措置などを明記	英警察が現場規制、捜索

駐留米軍に対する5カ

### 国の対応比較

沖縄県の玉城デニー知事は12日会見し、米軍が駐留する欧州4カ国について、米国と結ぶ地位協定の内容などの報告書を発表した。いずれも米軍の活動に原則国内法が適用されており、日米地位協定とは大きな差異があった。玉城知事は今後、日米両政府に協定の改定を求める考えだ。

4カ国は英国、ベルギー、ドイツ、イタリア。いずれも米軍が参加する北大西洋条約機構(NATO)軍と地位協定を結んでいる。昨年からは県幹部や職員を派遣して調査した。

報告書は、4カ国の駐留米軍への対応について「自国の法律や規則を適用させることで、自国の主権を確立させ、活動をコントロールしている」と指摘した。

具体的には、ベルギーでは領空内の飛行は国防省の許可が必要で、飛行高度や時間も自国軍より厳しい規制を設ける。英国では、国防省が米軍機の飛行禁止や制限を判断でき、米軍基地には英空軍司令官が常駐。独伊両国では、訓練に事前の承認が必要だ。

また、米軍機事故の際、英国警察は現場を規制・捜索できると指摘。実際の事故現場で捜査の優先権があると主張し、米軍人を基地に送り返した事例を紹介している。

これに対し、日本には米軍機事故の調査権がない。日米両政府が合意した飛行制限も守られず、基地への立ち入り権もないなど、4カ国とは大きな違いがあると報告書は結論づけた。

沖縄県はこうした違いを明らか…

残り：461文字／全文：1023文字

### 最先端機とベテラン操縦士がなぜ=米で「欠陥」指摘、軍事機密壁も-F35墜落事故

時事通信 2019年04月14日06時35分



青森県沖の太平洋に墜落した航空自衛隊の最新鋭ステルス戦闘機F35A(航空自衛隊提供)

航空自衛隊三沢基地(青森県)の最新鋭ステルス戦闘機F35Aが墜落した事故。原因究明に結び付く手掛かりはなく、最先端の機能を備えた機体とベテランパイロットに何が起きたのか謎は深まるばかりだ。防衛省は行方不明になっている隊員の発見と機体の回収に全力を挙げているが、機体は軍事機密の塊で、回収できたとしても、どこまで日本が原因究明の主導権を握れるか不透明な面もある。

空自によると、事故機は9日午後6時59分ごろに三沢基地を離陸し、4機編隊で太平洋上で2機に分かれ訓練を実施。事故機には総飛行時間約3200時間(うちF35約60時間)の経験を持つ編隊長の細見彰里3等空佐(41)が搭乗していた。

レーダーから消失する約1分前の同7時26分ごろ、「ノック・アウト・オフ(訓練を中止する)」と通信し、途絶した。一緒に飛行していた3機のパイロットたちも音声は聞いたが、事故機は肉眼では見えない有視界外だったとみられる。

通常、緊急時にはパイロットは戦闘機から座席ごと機外に脱出し、自動的に救難信号が発信されるが、信号は確認されていない。「中止」の送信後、機体の不具合や意識喪失などで突発的な異常事態に陥り、対処できなかった可能性がある。

細見3佐はF4戦闘機パイロット出身で、2018年4月から三沢基地のF35飛行部隊で勤務。防衛省高官は「経験豊富で編隊長の資格もあり、技量不足だとは思っていない」と話す。

米議会付属の政府監査院(GAO)は昨年、F35について966件の未解決の欠陥があることや、パイロットの酸素欠乏の症状などを指摘したが、防衛省は「現時点で、米国政府が公表している課題はない」としている。

防衛省によると、F35に関しては、「日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法」に基づき、その性能などの情報をより厳格に保全するため「SSA」と呼ばれる実施細目が日米防衛当局間で取り決められている。

政府関係者は「F35は秘匿性が一段と高い。回収された機体の検証は、米の協力がなければできない」と話している。機体を回収できたとしても、性能に関わる機体制御ソフトなどの解析は、日本側は触れられない可能性もある。

### 事故機、過去2回不具合=全配備機で3件中一F35墜落

時事通信 2019年04月12日19時56分



航空自衛隊の最新鋭ステルス戦闘機F35A=2018年1月26日、青森県三沢市

航空自衛隊三沢基地(青森県)の最新鋭ステルス戦闘機F35Aが墜落した事故で、事故機が過去に2回、不具合を起こして緊



急着陸していたことが12日、分かった。墜落との関連は不明という。国内に配備された他の12機では、不具合は1件しか確認されていない。

F35Aは昨年1月から順次、13機が国内配備されている。不具合は配備前の試験飛行も含めて計3件報告されており、いずれも国内製造機で起きた。

防衛省によると、墜落した国内製造初号機は2017年6月、試験飛行中に機体の冷却システムで不具合が確認され、愛知県営名古屋空港（愛知県）に緊急着陸した。三沢基地配備後の18年8月には、機材の不具合で空自千歳基地（北海道）に緊急着陸。いずれも不具合のあった部品を交換し、飛行を再開した。墜落するまでの同機の総飛行時間は約280時間だった。

同年4月には、試験飛行中だった国内製造4号機が、風防がロックされていない表示灯が点灯したため名古屋空港に緊急着陸した。その後、表示灯の誤作動が確認された。

### F35配備、計画変更せず＝岩屋防衛相

時事通信 2019年04月12日 11時52分



閣議に臨む岩屋毅防衛相＝12日午前、首相官邸

岩屋毅防衛相は12日の閣議後の記者会見で、航空自衛隊三沢基地所属のF35A戦闘機の墜落事故に関し、「現段階で昨年末に決定した（F35の）取得・配備計画を変更する考えはない」と明言した。計画では、空軍仕様のA型と海兵隊仕様のB型の合計でF35を147機導入するとしている。

岩屋氏は「まずは調査を徹底し、原因究明に全力を挙げたい。（海中に沈んだ）機体をぜひ引き揚げたい」と強調。その上で「現段階では計画を変更するような材料は出てきていない」と語った。

### 墜落のF35 海中捜索開始「配備計画には変更なし」岩屋防衛相

NHK2019年4月12日 12時27分



青森県沖で最新鋭のF35戦闘機が墜落した事故について岩屋防衛大臣は、12日から海上に加えて海中の捜索も開始し、事故原因の調査を急ぐとしたうえで、現段階ではF35を147機配備する計画に変更はないという考えを示しました。

今月9日、青森県沖で最新鋭のF35戦闘機が墜落し、パイロットが行方不明になった事故について岩屋防衛大臣は、記者会見で「自衛隊やアメリカ軍、海上保安庁の航空機や艦艇が周辺を捜索しているが、けさからは海上自衛隊の潜水艦救難艦が海中の捜索も開始した」と述べました。

そのうえで、現在10機余りのF35を今後10年程度で147機体制にする配備計画について「まず調査を徹底し、原因究明に全力を挙げたい。現段階では計画を変更する材料が出てきているわけではなく、変更する考えはない」と述べました。

また、墜落した機体が過去に2回、緊急着陸していたことについて「部品を交換して改善したうえで運用している」と述べたうえで、今回の事故との因果関係も含めて今後、調査する考えを示しました。

さらに岩屋大臣は、記者団が中国やロシアが機体の回収に乗り出す懸念への対応について質問したのに対し「外国の航空機や艦艇の動向は24時間しっかりウォッチしているが、現時点で特異な事例は確認されていない」と述べました。

### F35戦闘機墜落で空幕長が謝罪「心配をかけ おわびします」

NHK2019年4月12日 18時15分



青森県沖で最新鋭のF35戦闘機が墜落した事故について、航空自衛隊トップの丸茂吉成航空幕僚長は、12日の定例会見で「国民の皆様にご心配をおかけし、お詫言します」と述べて謝罪しました。この中で丸茂航空幕僚長は、「国民の皆様にご多大なご心配をおかけし、心からお詫言します。事故原因の究明と再発防止のため、事故調査に全力を尽くします」と述べたうえで、12日から、カメラを使って海中の捜索も始めたことを明らかにしました。

事故機をめぐっては、墜落の前に「訓練を中止する」という通信があったことが分かっていますが、通信やデータを調べたところほかにもトラブルの兆候は確認できていないということです。

事故機は午後6時59分に離陸したあと、午後7時27分に機影がレーダーから消えて通信が途絶えています。着陸予定は午後8時50分だったということで、訓練開始からさほど時間がたっていない時点で何らかのトラブルが起きたとみられています。

また、この事故で行方が分からなくなっている細見彰里3等空佐（41）は、去年4月からF35戦闘機の部隊に所属しているということです。

### 米軍 横田基地の工事土砂の搬入始まる 地元は反対 埼玉 所沢

NHK4月12日 12時10分



東京の横田基地の工事で発生する大量の土砂を埼玉県所沢市にあるアメリカ軍の施設に運び込む計画をめぐり、地元が反対する中、12日、土砂を運び込む作業が始まりました。

東京の横田基地の道路工事で発生する大量の土砂を、市内にあるアメリカ軍の通信施設に運び込む計画をめぐり、所沢市などでつ

くる地元の協議会は通信施設を別の用途に使うことは容認できないなどとして中止するよう求めています。

こうした中、12日午前、通信施設に土砂を運び込む作業が始まり、ダンプカーが次々と施設の中に入り、荷台に積んだ土砂を降ろしていました。

所沢市によりますと、今回、運び込む土砂についてアメリカ軍は鉛や水銀などの特定有害物質がすべて基準値の範囲内だったと説明しているということです。

横田基地からは、およそ3万7000立方メートルの土砂が1年間にわたって運び込まれる計画で、所沢市基地対策室の大舘寿貴室長は「非常に残念です。今後も市民の安全・安心を第一に考えて対応していきたい」とコメントしています。

しんぶん赤旗 2019年4月13日(土)

### 米軍が土砂搬入強行 所沢基地 横田基地強化と一体

米軍横田基地（東京都多摩地域）の工事で発生した土砂を12日、地元自治体などの反対を押し切って米軍が埼玉県所沢市の所沢通信基地に搬入しました。市内の平和・住民団体が抗議するなか午前10時前、搬入口となった同基地南西の仮設ゲートに最初のダンプカーが到着しました。

所沢市や市議会、市内の各団体でつくる基地対策協議会は、「通信業務以外で運用することは返還が遠のくことにつながりかねず到底容認できない」として防衛省に2回にわたり「即時」中止を要請。市議会は3月29日、中止を求める意見書を衆参両院議長と政府に提出していました。

米軍は、滑走路外周道路の付け替え工事で発生した土砂約3万7000立方メートルを、所沢通信基地に1年間かけて搬入する計画。搬入場所は基地南西の法務局、簡易裁判所、小学校、保育園などのすぐ北側の敷地で、1日最大240台のダンプカーが行き来します。

工事は、横田基地の離着陸回数増加による外周道路の渋滞解消とともに、昨年配備された空軍特殊作戦機CV22オスプレイの専用施設建設のための搬送路としての使用を前提としています。所沢通信基地への土砂搬入は横田基地の強化と一体のものとなっています。

### 自衛隊に100人規模の宇宙部隊 ファイブアイズと監視

2019/4/14 2:00 情報元日本経済新聞 電子版



防衛省は2022年度に発足させる宇宙状況を監視する新部隊を100人規模とする方針だ。宇宙空間に増加している宇宙ごみ（デブリ）や、不審な衛星の動きを探知し米軍と情報共有する。米国や英国、オーストラリアなど機密情報を共有する「ファイブアイズ(Five Eyes)」の枠組みと連携して国際的な監視網を築く。22年度に部隊を立ち上げ23年度から本格運用する。専用レーダ

ーを山口県内に配備する。集めた情報を分析する拠点は東京都内につくる。100人規模の体制をつくり24時間監視する。すでに新部隊の候補となる隊員を米コロラド州にある米空軍基地の宇宙関連の課程に派遣した。

デブリなど宇宙空間の情報の多くは米国に依存しており、自衛隊の体制も整えて相互共有する。米軍は欧州などの各国と連携して監視にあたっている。米英豪、カナダ、ニュージーランドのファイブアイズに加えフランス、ドイツの7カ国は10日、宇宙監視で連携を強める声明を出した。

日本もファイブアイズの監視網に加わりたいとしている。19日にワシントンで開く日米の外務・防衛閣僚協議（2プラス2）でも宇宙分野での協力を申しあわせる。

宇宙空間は陸海空に次ぐ「第4の戦場」といわれる。全地球測位システム（GPS）衛星で誘導するミサイルや部隊の展開、ドローン（無人偵察機）による情報収集など、安全保障と宇宙利用は密接な関係にある。

中国は07年に衛星破壊実験を実施し、近年も宇宙関連技術の開発を急速に進めている。1月には初めて月の裏側に無人探査機を着陸させた。警戒する米国は20年までに宇宙軍を創設する方針を掲げた。米中の宇宙をめぐる覇権争いは激しくなっており、米国と同盟を組む日本も体制強化を迫られている。

18年末にまとめた防衛計画の大綱（防衛大綱）ではサイバーや電磁波を扱う電子戦に加え、宇宙分野での能力強化を打ち出した。防衛省は10年後をメドに大気圏外から宇宙空間を監視する人工衛星を打ち上げる構想も進めている。19年度予算に調査研究費を計上した。

18年秋には米空軍宇宙コマンドが主催した多国間机上演習「シュリーバー・ウォーゲーム」に初めて参加した。米英豪などファイブアイズが中心になってきた演習だ。1月のフランスとの2プラス2では宇宙分野での連携を確認した。

### 辺野古K9護岸で土砂を積み込む ゲート前では雨の中、抗議続く

沖縄タイムス 2019年4月13日 13:14

沖縄県名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ沿岸では13日午前、新基地建設に向け、K9護岸でダンプカーに土砂を積み込む作業やK8護岸でクレーンが汚濁防止膜をつり上げる様子が確認された。



米軍キャンプ・シュワブ沿岸のK9護岸では、ダンプカーに土砂を積み込む作業が確認された＝13日午前10時15分ごろ、名護市辺野古

新基地建設に反対する市民がカヌー12艇と抗議船3隻で、「違法な埋め立ては止めろ」「海を壊すな」などと訴えた。



米軍キャンプ・シュワブゲート前では雨の中、約40人が集まり、「新基地NO」を訴えた。午前中の工事車両による資材搬入はなかった。



### 在沖米軍トップにクラデー中将

時事通信 2019年04月13日10時26分

【ワシントン時事】トランプ米大統領は12日、沖縄を拠点とする海兵隊第3海兵遠征軍の司令官にハーマン・クラデー中将を指名した。在沖米軍トップの四軍調整官も兼務する。

クラデー氏は1983年海兵隊入り。イラク戦争の従軍経験があるほか、沖縄駐留の第3海兵師団を指揮したこともある。

### 米軍訓練場、半分は返還されたが 跡地に薬莢や毒性物質

朝日新聞デジタル成沢解語 2019年4月14日07時00分



米軍北部訓練場の返還地には、空包

と思われる金属があちこちに落ちていた＝2018年9月11日、沖縄県国頭村、小宮路勝撮影



北部訓練場の地図と衆院沖縄3区

の位置関係



衆院沖縄3区内の広大な山林にある米軍北部訓練場(約7800ヘクタール)は約2年前、半分ほどが返還された。だが、廃棄物が次々と見つかり、周辺には騒音が激化した地域もある。国は「負担軽減」をアピールするが、その実感は住民には薄い。

沖縄本島北端に位置する国頭村(くにがみそん)。東部にある安田(あだ)の集落は日中でも出歩く人はまばらだ。「米軍機は今でも平気で上空を飛び回る。基地が返還された実感はない」。自治会の前区長、伊計(いけい)忠さん(60)は語る。

北部訓練場は2016年12月、米側から半分にあたる4千ヘクタールが返還された。一帯は深い森で、大半は国有地。国が原状回復した上、17年12月に土地を地権者に引き渡した。

安倍政権は「本土復帰後最大の返還」とアピールし続ける。跡地の大半を国立公園に編入し、20年の世界自然遺産登録をめざす。地元自治体は、観光振興にも期待する。

ただ「恩恵」の実感は乏しい。

選挙カーほとんど来ず

国は引き渡しまでの1年間で汚染物質の調査や除去を終えたとするが、跡地からは薬莢(やっきょう)やごみが次々と出ている。自然保護活動に携わる市民が安田地区の返還地で昨年1月にドラム缶を見つけ、周辺土壌を専門家が鑑定したところ、毒性の強いポリ塩化ビフェニール(PCB)を検出。県は今年3月、沖縄防衛局に調査を求めたが、防衛局は「事実関係を承知していない」との立場だ。

約160人の集落は少子高齢化が進み、地元の中学校は10キロ以上離れた西海岸の学校に統合された。住民の危機感は強いが、衆院補選の選挙カーが訪れることは、めったにない。

伊計さんは不信感を抱く。「米軍のやることだから、返還地から何が出てきても不思議はない。集落が成り立つかどうかの瀬戸際なのに、本当に観光振興につながるのだろうか」

その安田から南へ10キロの東…

残り：521文字／全文：1290文字

### 辺野古移設以外の方策を議論 6月上旬に沖縄で会議

2019/4/12 13:26 共同通信社



記者会見をする沖縄県の玉城デニー知事＝12日午前、沖縄県庁  
沖縄県の玉城デニー知事は12日の定例記者会見で、米軍普天

間飛行場（宜野湾市）の返還を巡り、名護市辺野古移設を条件としない方策など幅広いテーマについて有識者らを交えて議論する「万国津梁会議」を6月上旬ごろに県内で開催する考えを表明した。

玉城氏によると、人権・平和など五つの分野で協議。日米特別行動委員会（SACO）最終報告で日米両政府が合意した内容を検証するほか、在沖縄米軍の運用などについて議論。会議のメンバーは明らかにしなかった。

玉城氏は「（有識者の意見を基に）具体的、現実的な基地負担軽減についての考え方をまとめて（政府に）示していきたい」とした。

## 米兵、女性刺し無理心中か＝アパートで2人死亡－沖縄

時事通信 2019年04月13日 21時33分

13日午前7時半ごろ、沖縄県北谷町桑江のアパートで「トラブルがあるようだ」と110番があった。救急隊などが駆け付けたところ、室内で男女2人が血を流して倒れており、現場で死亡が確認された。県警によると、2人は在沖米海軍兵の男性（32）と、この部屋に住む日本人女性（44）。第三者が侵入した形跡はなく、男性が女性を刺し、無理心中を図ったとみられる。

県警によると、2人は寝室ベッドで倒れていた。いずれも刃物のようなもので刺された跡があり、刃物はベッド上で発見された。男性は12日夜から女性宅にいたとみられるという。

現場には女性の子供がいたが、けがはなかった。県警は14日以降、遺体を司法解剖して詳しい死因を調べる。

事件を受け、防衛省は米軍に抗議するとともに、再発防止の徹底などを申し入れた。同省によると、米側からは「捜査に全面的に協力し、兵士の綱紀粛正を徹底する」との説明があったという。

## 交際トラブル発端か＝在沖米兵の女性刺殺－沖縄県警

時事通信 2019年04月14日 20時26分

沖縄県北谷町のアパートで在沖米海軍兵の男性（32）が女性（44）を刺殺し、自殺した事件で、米兵と女性が交際をめぐるトラブルになっていたことが14日、県警への取材で分かった。米軍憲兵隊の通報に基づき、県警は今年2月以降に女性から聞き取りしたが、被害届は提出されなかったという。県警は交際トラブルが事件につながったとみて調べている。

県警によると、今年1月下旬に憲兵隊から2人の交際トラブルをめぐる通報があった。2月上旬に沖縄署で事情を聴いたところ、女性は「海軍兵と別れ話でもめている」などと話したという。その後も確認を続けたが、被害届提出の意思はなく、3月には電話で「トラブルはない」との回答があったという。

県警は14日、女性の死因を失血死と発表した。米海軍兵の司法解剖は15日に実施する。

## 死亡の2人は交際、体に刺し傷 沖縄の米兵、女性殺害後に自殺か

2019/4/13 19:05 共同通信社



搬出用の警察車両にブルーシートを掛ける沖縄県警の捜査員＝13日午後、沖縄県北谷町

沖縄県北谷町のアパートで13日午前、死亡しているのが見つかった男女は、在沖米海兵隊所属の男性海軍兵（32）と住人の日本人女性（44）で、交際していたとみられることが同日午後、県警などへの取材で分かった。どちらの体にも刃物のようなものによる刺し傷があったことも判明。県警は2人の死因や、トラブルの有無を調べている。

県警によると、2人は寝室のベッドで倒れていた。女性宅には外部から侵入した形跡はなく、海軍兵は12日夜からこの部屋にいた。

関係者によると、海軍兵は女性を殺害後、自殺した可能性があるという。

## 米海軍人と女性が死亡 男女トラブルか 沖縄・北谷

朝日新聞デジタル 2019年4月13日 19時41分



男女2人の遺体が見つかった現場のマンション。6階の通路にブルーシートが張られていた＝13日、沖縄県北谷町、岡田将平撮影

13日午前7時半ごろ、沖縄県北谷町桑江のアパートの寝室で、このアパートに住む女性（44）と、米海軍人の男性（32）が血を流して死亡しているのが見つかった。現場に凶器とみられる刃物があったといい、県警などは、男女間のトラブルで米兵が女性を刺した後に自殺したとみている。

県警によると、13日朝、女性の娘が異変に気づき親族に連絡。親族が「トラブルがあるようだ」と110番通報した。警察官が女性宅に入ると、2人は寝室のベッドで倒れており、死亡が確認された。男性は12日夜から女性宅に来ていた。2人が交際していた、と県警はみている。現場に荒らされたり侵入されたりした形跡はないという。

米海兵隊によると、第3海兵師団所属の米海軍人。県警は米軍に身元を照会するなど捜査への協力を求め、米軍も応じている。

## 米兵 交際していた日本人女性殺害し自殺か 沖縄 北谷町

NHK4月13日 18時45分





13日朝、沖縄県北谷町のマンションで、アメリカ軍の兵士と交際していた日本人の女性の男女2人が死亡しているのが見つかり、警察は現場の状況などから、兵士が女性を殺害したあと自殺したとみて、詳しいいきさつを調べています。

13日午前7時半ごろ、沖縄県北谷町桑江にあるマンションの1室でトラブルがあったようだとして警察に通報があり、警察官が駆けつけたところ、寝室で血を流して倒れている男女2人を見つけ、まもなく死亡が確認されました。

警察によりますと、死亡したのは沖縄に駐留するアメリカ海兵隊所属の32歳の兵士と、この部屋の住人で兵士と交際していた日本人の44歳の女性です。当時、室内には女性の子供がいましたが、けがはないということです。

部屋からは血の付いた刃物が見つかっていて、警察は現場の状況から、兵士が女性を刃物で刺して殺害したあと自殺したとみて、詳しいいきさつなどを調べています。

アメリカ海兵隊は「大変悲しい事件であり、軍の捜査部門が沖縄県警の捜査に全面的に協力している」とコメントしています。

現場は国道近くの飲食店やマンションなどが建ち並ぶ一角で、周辺には複数のアメリカ軍基地があります。

現場近くの住民「驚いている」

現場近くに住む20代の女性は「この辺りには外国人がたくさん住んでいて、みんな優しく治安も悪くはないと思いますが、こういう事件があると怖いです」と話していました。

また、30代の男性は「この辺りは明るくて危ないところではないと思っていたので、事件があったと聞いて驚いています」と話していました。

外務次官「極めて遺憾」 駐日米大使「捜査に協力」

事件を受けて、外務省の秋葉事務次官は13日午後、アメリカのハガティ駐日大使に電話し「極めて遺憾だ」と強く抗議したうえで、警察の捜査への協力と綱紀粛正や再発防止の徹底を申し入れました。

これに対し、ハガティ大使は深い遺憾の意を示したうえで、「捜査に全面的に協力し、再発防止のためにできることはすべて行う」と応じました。

米兵事件に「激しい怒り」＝女性刺し無理心中－玉城沖縄知事  
時事通信 2019年04月14日 18時55分



米兵による無理心中事件を受け、記者団の取材に応じる玉城デニー沖縄県知事＝14日午後、同県うるま市

沖縄県北谷町で在沖米海軍兵が日本人女性を刺殺した無理心中に関し、玉城デニー知事は14日、同県うるま市で記者団に対し、「県民の尊い命が失われたことは大変深い悲しみであり、遺憾であると同時に激しい怒りを覚える」と語った。「このような事件事故を減らすには、沖縄の過重な負担を早く解消させる協議を日本政府が米国に行わなければならない」と強調した。

知事によると、13日に在沖米軍トップのスミス四軍調整官から電話があり、「2人は交際しており、男性が女性を殺害した後自殺した。県警の捜査に全面的に協力する」との説明を受けたという。また、スミス氏は「これはひとえに私の責任だ」と釈明、知事は抜本的な再発防止策を講じるよう求めた。

沖縄の事件で米大使に抗議 外務次官、捜査協力を要請

2019/4/13 18:01 共同通信社

秋葉剛男外務事務次官は13日、沖縄県での男女2人の死亡に絡み、米海軍兵とみられる男性が日本人女性を殺害し自殺したとの情報があることを受け、ハガティ駐日米大使に電話で抗議し、捜査への協力と綱紀粛正、再発防止を要請した。

外務省によると、ハガティ氏は深い遺憾の意を表明し「日本当局の捜査に全面的に協力し、再発防止のためにできることは全て行う」と述べた。

玉城デニー知事「激しい怒り」 北谷米兵・女性死亡 米軍トップに抗議 米軍、捜査に全面協力へ

琉球新報 2019年4月15日 10:12



記者団に事件に対する受け止めを話す玉城デニー知事＝14日午後5時ごろ、うるま市地域交流センター

北谷町で在沖米海兵隊所属の男性海軍兵と日本人女性の遺体が見つかり、兵士が女性を殺害した可能性がある事件について、玉城デニー知事は14日、13日午後に在沖米軍トップのエリック・スミス四軍調整官に対し「県民の尊い命が失われたことは大変深い悲しみであり、遺憾であると同時に激しい怒りを覚える」と抗議し、抜本的な再発防止策を講じるよう求めたことを明らかにした。うるま市内で記者団に語った。

玉城知事は近く、在沖米軍や在沖米総領事、外務省沖縄事務所、沖縄防衛局など関係機関に抗議する考えを示した。抗議日程については、15日午前に関く県の幹部会議で調整する。

玉城知事によると、スミス四軍調整官は13日、知事に直接電話し、男性と女性が交際していたことや男性は女性を殺害した後自殺したこと、米軍は県警の捜査に全面的に協力する旨を説明した。その上で「これはひとえに私の責任である」と述べたという。

記者団に対して玉城知事は、在沖米軍が今年2月に米兵らの勤務時間外の行動を規定する「リバティー制度」を大幅に緩和したことを念頭に「結局こういう事件が起こる度に、その場その場の対応だけで、事が済まされることだけは決してあってはいけないということを強く受け止めてほしい」と米軍に求めた。

また、事件事故を減らすには「沖縄に対する過重な基地負担を早く解消させる協議を日本政府が米政府に働き掛け、日米政府は沖縄の声を聞くなど真摯（しんし）で誠実な対応を取らなければならない」と主張した。

## 町長が防衛局に強い抗議「町民に直接謝罪すべきだ」 沖縄北谷の2遺体

沖縄タイムス 2019年4月15日 11:36

沖縄県北谷町で発生した米海兵隊所属の海軍兵が日本人女性を刺殺し、自殺したとみられる事件を受け、野国昌春町長らは15日、嘉手納町の沖縄防衛局に田中利則局長を訪ねて抗議し、米軍人の綱紀肅正や教育、再発防止策の徹底、県警捜査への全面協力を米側に申し入れるよう、要請した。



沖縄防衛局の田中利則局長（手前右）に抗議・要請文を手渡す野国昌春北谷町長＝15日、嘉手納町の同局

報道陣に公開された面談で、野国町長は詳細が明らかでないと同置きしながら「町民の命が奪われた、絶対にあってはならない重大な事件」と強調。米兵らの勤務時間外の行動を規制する「リバティー制度」が2月に大幅緩和されたことに触れ「何も起きなければいいがと話していた直後の事件。米軍司令官や担当上司は、町民に直接謝罪すべきだ」と強く抗議した。

田中局長は県警が捜査中であるため事件内容への言及は控えるとし「地域住民に不安を与えないよう、綱紀肅正、再発防止について強く米側に申し入れる」と話した。

町は米軍、在沖米総領事館、外務省沖縄事務所での抗議も予定している。

## 女性は危険な状況だった 専門家から警察対応に疑問も 沖縄北谷2遺体

沖縄タイムス 2019年4月15日 09:57

沖縄県北谷町のアパートで米兵の男性と日本人女性の遺体が見つかった事件。交際トラブルがあったとされる。交際相手などからの暴力（DV）に詳しい専門家からは、警察の対応に疑問の声も上がっている。



遺体を載せたとみられる車両＝4月13日午後2時ごろ  
矢野恵美教授

交際相手が在沖米海兵隊所属の海軍兵ということで、被害女性側が、日本の警察に相談しても、どこまで捜査が可能なのかと不安に思い、日本側には相談しなかった可能性は十分にある。プライベートに深く関わる事案であれば、何度も別の捜査機関に話すことへの心的負担もある。日本と米国の警察が捜査情報を共有できる体制があれば、結果が変わっていた可能性はあるかもしれない。

一般論として、加害者との関係が近いほど、犯罪被害を届けにくくしてしまう傾向がある。他人からの被害ならすぐに届けるようなことであっても、友人、交際相手、家族となっていくと警察に届けることをためらってしまうケースは多い。警察は、関係者の関係性などを踏まえた上で、被害届や告訴がなされないことと、犯罪のリスクがないことはイコールではないということは意識してほしい。（琉球大学法科大学院、犯罪学・被害者学、談）  
秋吉晴子さん

DVが更にひどくなるのは、交際相手から別れようとする時と、妊娠や出産直後の身動きが取れない時とされている。今回、女性は危険な状態にあった。

暴力にさらされていても被害届を出さない被害者は多い。届けを出すことで、かえって相手を刺激してより危険な状態になることを避けたいからだ。今回、被害にあった女性には同居の子どももいた。子どもへの影響を心配して被害届を出さなかった可能性もある。

相手が米兵だったことで、日本の警察署の対応に限界を感じていた可能性もある。さいたま市でも今年1月、交際相手からの暴力を警察に相談する一方で、被害届を出さなかった女性が殺害された事件が発生したばかりだ。

警察署などはDVのメカニズムを知った上で対応する必要がある。DVの被害者が被害届を出さずとも、場合によっては強制的に介入することが必要だ。（しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄代表、談）

## 死亡女性の同僚ら衝撃「まさか」 沖縄北谷の2遺体

沖縄タイムス 2019年4月15日 09:41

「とても気さくで明るい人だった」。沖縄県北谷町桑江のアパートで米海兵隊の男性（32）と日本人女性（44）の2人の遺体が見つかった事件で、女性の勤務先の同僚は、突然の悲しみに暮れた。一方、女性から異性間トラブルを聞いていたという知人男性は「まさか事件に発展するとは思わなかった」と落胆した。



米兵と女性、2人の遺体が見つかったアパート＝沖縄・北谷町内  
沖縄署が今年1月下旬からDVなどの被害から保護する対象者として関与していた女性。女性は3月中旬にも「大丈夫」と伝



えていたが、同署は引き続き保護対象者として定期的に連絡していく予定だったという。事件はそんな最中に発生した。

事件発生から一夜明けた14日、女性の職場の同僚たちは「職場のみんながぼうぜんとしている」と動揺を隠しきれない様子で語った。

女性は社会的で社内では誰とでも仲良く話していたという。事件前日もいつも通り出勤し、帰る際には「明日ね」と明るく職場仲間と声を掛けていた。「明るい彼女は職場で大切な存在だったのに」と悼んだ。

別の同僚も「気さくな人だった。ショックを受けている」と声を落とした。

事件現場となったアパートの玄関前にはこの日も規制線が張られたままだった。

アパートの女性住人は「女性は離婚して1人で子育てを頑張るお母さんという印象だった。残された幼い子どもも心配」と表情を曇らせた。

アパート近くの別の住民は「この辺りは人の入れ替わりが激しく、誰がどこに住んでいるのかもわからない。もう少し地域のつながりがあれば未然に防ぐことができたのでは」と、自治会などの対策や周辺パトロールの強化を望んだ。

### 米兵の女性刺殺で抗議＝外務次官、駐日大使に

時事通信 2019年04月13日 20時02分

外務省の秋葉剛男事務次官は13日、沖縄県で在日米兵の男性が日本人女性を刺殺したとみられる事件を受け、ハガティ駐日米大使に電話で「極めて遺憾だ」と抗議した。県警の捜査への協力や綱紀粛正、再発防止も求めた。

外務省によると、ハガティ氏は深い遺憾の意を伝え、「日本当局の捜査に全面的に協力し、再発防止のためにできることは全て行う」と応じた。

### 1935年の沖縄のカラー化「面白い」 京都でも開幕

朝日新聞デジタル 2019年4月13日 16時26分



開幕した写真展「よみがえる沖縄

1935」で、展示写真に見入る来場者たち＝2019年4月13日午前、京都市北区、遠藤真梨撮影



1935年に沖縄で撮影された写真を展示する「よみがえる沖縄1935」（立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、沖縄タイムス社主催）が13日、京都市北区の同ミュージアムで

始まった。

写真は、大阪朝日新聞（当時）のカメラマンが、沖縄の暮らしを撮影したもの。約80年後に朝日新聞大阪本社でネガが見つかり、うち約100点を展示している。一部の写真は東京大大学院情報学環・渡邊英徳教授の研究室と連携し、早稲田大・石川博教授らが開発した人工知能（AI）を使った自動色づけ技術でカラー化した。

沖縄県の旧三和村（現糸満市）出身の金城庄信さん（77）は「子供の頃の記憶より豊かな様子の写真に驚いた。すぐに見たくて初日に来た」。東京都品川区の自営業、三ツ井瑛耶香（さやか）さん（26）は「笑顔の写真が多いですね。カラー化が面白かった」と話した。

朝日新聞の創刊140周年記念事業で、6月29日まで。今月27日午後1時から、座談会とギャラリートークがある。問い合わせは同ミュージアム（075・465・8151）へ。

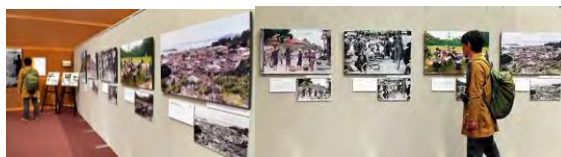
### 1935年の沖縄、カラー化でよみがえる 京都で写真展

朝日新聞デジタル 2019年4月13日 13時15分



開幕した写真展「よみがえる沖縄19

35」で、展示写真に見入る来場者＝2019年4月13日午前、京都市北区、遠藤真梨撮影



沖縄戦に巻き込まれる10年前の1935年、朝日新聞記者が沖縄で撮影した写真を展示する「よみがえる沖縄1935」（立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、沖縄タイムス社主催）が13日、京都市北区の同ミュージアムで始まった。6月29日まで。

写真は、大阪朝日新聞（当時）の記者とカメラマンが、沖縄の漁業や製糖、風習などを取材した際に撮影した。約80年後に朝日新聞大阪本社で277コマが見つかり、うち約100点を展示。一部は人工知能（AI）と地元の人の記憶でカラー化した。

子どもを連れて訪れた同市北区の会社員松本晃輔さん（40）は「活動的な写真が多く、生命に満ちあふれている」。大阪市北

区の会社員堀毛雄一さん（39）は「戦前の沖縄にこんなにも豊かな暮らしがあったことは知らなかったので、興味深いです」と話していた。

今月27日午後1時から、同ミュージアムで座談会とギャラリートーク「ネガ発見秘話と記者たちの思い」がある。

### 馬毛島所有会社、前任社長が復帰 米軍の訓練移転難航も

朝日新聞デジタル古城博隆 2019年4月12日 20時43分

米空母艦載機の陸上離着陸訓練（FCLP）の移転候補地となっている馬毛（まげ）島（鹿児島県）をめぐる、島の大半を所有するタストン・エアポート社（東京都）の社長だった立石薫氏が解任され、父で前任者の勲氏が社長に就いたことが12日、分かった。政府は今年1月、島の土地を160億円で購入することで同社と合意したが、一時は約400億円を提案していた勲氏の再就任で、契約交渉が難航する可能性がある。

法人登記によると、社長交代は2月19日付。解任された薫氏が「勲氏は社長ではない」と定める仮処分を申し立てていたが、東京地裁が今月8日に却下した。

政府は2011年に馬毛島をFCLPの移転候補地に決めたが、土地の評価額で同社と折り合わなかった。交渉は難航していたが、昨年10月、同社への融資を引き受けた債権者の求めで、社長が勲氏から薫氏に代わって以降、交渉が一気に進み、合意に至った。同社幹部によると、薫氏の交渉姿勢について社内には不満があり、臨時株主総会で解任決議が可決されたという。

同社幹部は朝日新聞の取材に「薫氏から合意内容を知らされていない。確認なしに土地売買契約の話は始められない」と語っており、政府関係者も「すぐに契約がまとまる状況ではなくなった」とみている。馬毛島の地元・西之表市には移転に反対する声がある。（古城博隆）

### 帰れぬ故郷 眠る1万1500人の遺骨 「返還に硫黄島は含まれていない」 沖縄出身100人超が戦死<小笠原と沖縄返還50年の先> 2

琉球新報 2019年4月12日 10:26



硫黄島民が戦前、漁に使っていたカヌーの模型を見せながら当時の暮らしを語る山下賢二さん＝神奈川県川崎市

小笠原諸島の南に位置し、太平洋戦争で激戦地となった硫黄島。戦前は千人余りが暮らし豊かな生活が営まれていたが、戦況の悪化に伴い1944年に島民は日本本土に強制疎開となった。戦後は米軍が占領し、68年の施政権返還から半世紀がたったが、現在もなお硫黄島は住民の帰還が許されていない。自衛隊の基地が置かれ米軍も使用している一方、島には地上戦で犠牲になった約1万1500人の遺骨が今も眠る。

神奈川県川崎市に住む山下賢二さん（88）は、戦前の硫黄島の生活を知る数少ない一人だ。祖父母の代に硫黄島に入植し、家庭は漁業や麻酔に使うココ栽培で生計を立てた。

硫黄島には沖縄から来た人も住んでいたという。「沖縄の人は豚肉が好きでね、上手に解体して島の人を食べない内臓まで食べる。今で言うモツ煮込み。あれはおいしかった」



戦前の硫黄島の子どもたち（全国硫黄島島民の会提供）



戦前の硫黄島の暮らしの様子（全国硫黄島島民の会提供）

44年6月、戦況が悪化し硫黄島でも空襲が始まった。強制疎開が決まり、当時14歳だった山下さんは家族や他の住民と島を離れた。栃木に疎開し、戦後は米軍が占領した硫黄島へ帰れず、仕事を求め東京に移った。6畳一間の部屋で両親と妹、弟の5人が体を寄せ合い暮らした。当時を思い出す山下さんは「帰る所がないのはつらかった。惨めな生活だったですよ」と声を詰まらせた。

故郷を失った島民は離散し、多くは連絡が取れなくなった。父親から硫黄島に帰ることは「諦めろ」と言われていたこともあり、68年の返還を迎えても高揚感はなかった。

今年6月に開かれた小笠原諸島返還50年の式典に、山下さんも村役場から誘われたが出席しなかった。「小笠原返還というけど、そこに硫黄島は含まれていませんよ」

◇ ◇ ◇ ◇



硫黄島の摺鉢山にある米軍の記念碑＝2015年3月

硫黄島の地上戦で亡くなった日本兵約2万2千人の中には沖縄出身者もいた。厚生労働省によると、都道府県の出身別の戦没者数に関する統計は取っていないという。ただ、硫黄島の戦没者



遺族らでつくる「硫黄島協会」が保管する戦没者名簿には、100人以上の沖縄出身者の名前がある。

硫黄島協会の安荘正憲副会長（84）＝横浜市＝は鹿児島県出身で、父の憲瓘（けんりゅう）さんが硫黄島で戦死した。憲瓘さんがいた陸軍歩兵第145連隊（約2700人）は大半が鹿児島の志願兵だったが、そこには沖縄出身者も多くいた。隊で生還したのは1割にも満たず、安荘さんは「沖縄の方も状況は同じだったんでしょ」と語る。遺族の高齢化が進み、今では沖縄の遺族との交流も途絶えているという。

厚労省のまとめでは、これまで硫黄島で収容された遺骨は1万410人で、戦没者の半分に満たない。返還後も基地が置かれたことで立ち入りが禁じられ、遺骨収集は遅々として進んでこなかった。

98年になって、安荘さんの父の遺骨が86年に見つかり身元の分からない遺骨を納める東京の「千鳥ヶ淵戦没者墓園」にあることが分かった。父の最期を見届けた生還者の証言などから判明したという。

だが墓園には他の遺骨も安置され、父のものだけを取ることはできない。安荘さんは「悔やまれるが、父の遺骨であることが分かっただけでも良かったと思わないといけない」と話す。

（當山幸都）



現在も地上戦当時の残骸が残る硫黄島＝2015年3月

最初に住み着いたのは欧米人、ハワイの先住民だった「ボンアイランド」と呼ばれる小笠原諸島 日米に翻弄されてきた太平洋の島<小笠原と沖縄―返還50年の先に> 3

琉球新報 2019年4月12日 14:39



米国から渡ってきた先祖について調べ続けるセーボレー孝さん。米国にいる子孫と初対面した際「お前の鼻はセーボレー家の鼻だ」と言われたという＝東京都小笠原村の父島

小笠原諸島は英語圏で「Bonin Islands」と表記する。「ボン」は「無人（ぶにん）」のなまりとされる。長く無人島だった小笠原諸島に最初に住み着いたのは、1830年にやってきた欧米人やハワイの先住民らの二十数人だった。76年に明治政府が領有を宣言し、島民は「帰化人」となる。太平洋戦争後の23年間の米国統治を経て、1968年に日本に返還された。

「新島民も増えて、新しい文化もどんどん入っている。欧米系島民も負けないようにしないとね」

小笠原村役場の総務課長、セーボレー孝さん（61）がそう笑ってみせる。1830年に父島にたどり着いた米マサチューセッツ州出身のナサニエル・セーボレーさんの子孫で、5代目に当たる。1968年の返還時に「孝」に改名したが、島民は今も英名の「ジョンナサン」や「ジョナ」と呼ぶ。



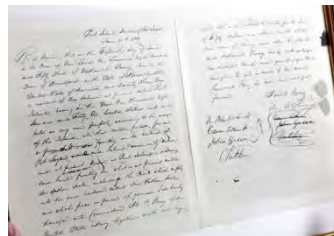
1927年に撮影されたセーボレー家の人々（セーボレー孝さん提供）

小笠原では、19世紀から島にいた欧米人のルーツを持つ「欧米系島民」、明治から戦前に日本本土や伊豆諸島から移住した「旧島民」、68年の返還後に住み着いた「新島民」と便宜上使い分けられることが多い。現在では人口の9割が新島民だ。

欧米の捕鯨船や貿易船が太平洋に進出した19世紀、米国は寄港地を確保しようと日本に着目した。1853年、米海軍のペリー提督は徳川幕府との交渉を前に、琉球や父島に立ち寄っている。父島で対応したのがナサニエルさんだった。セーボレーさんの自宅には、当時ペリー提督とナサニエルさんが結んだ土地売買契約書のコピーが保管されている。

明治以降は本土や伊豆諸島から多くが小笠原に移り住み、戦前に人口は8千人近くまで膨らんだ。しかし、太平洋戦争で小笠原を占領した米軍が島に居住を認めたのは、欧米系の住民約130人だけだった。

米統治下で生まれたセーボレーさんは家庭では日本語が中心で、学校では英語を話した。島の映画館で西部劇を楽しみ、独立記念日やクリスマスを盛大に祝う。米国流の生活スタイルだったが「米国人という意識はなかった」という。「ハワイのハワイアン、グアムのグアメニアンのように、島の先輩は自分をボン・アイランダーと言っていた。僕もそうなのかなと思っていた」



祖先のナサニエルさんが1853年にペリーと結んだ土地売買契約書のコピー

小笠原で生まれた子どもは小中学校を卒業後グアムの高校に進学した。だがセーボレーさんが10歳だった68年6月に返還が訪れ、生活は日本式にがらりと変わる。学校で教わる内容も

「ABC」から「あいうえお」になった。

返還を機に日本語を学ぶため日本本土に転校してから、セーボレーさんは自身のルーツを強く意識するようになった。太平洋を渡って小笠原に来た祖先は何者だったのか。その足跡を調べ始め、島に戻って役場に就職してからも祖先の出身地を訪ねたり、資料を集め続けたりしてきた。

返還から半世紀、かつての小笠原を知る証言者は少なくなった。セーボレーさんは「小笠原の歴史は教科書に出てこない。それをしっかり残し、伝えていきたい」と語る。

(當山幸都)

## 総力戦、冷戦の「捨て石」に 沖縄・小笠原の犠牲と引き替えにした日本の「平和」 <小笠原と沖縄—返還 50 年の先に> 4

琉球新報 2019 年 4 月 12 日 15:11

2018 年 6 月に返還 50 年を迎えた小笠原諸島の歴史経験はどう捉えられるのか。明治学院大の石原俊教授（歴史社会学）に聞いた。（聞き手・當山幸都）



小笠原諸島の歩みについて「複雑な歴史があり、島民の苦難があった」と説明する石原俊明治学院大教授＝東京都の同大

—小笠原諸島の歴史をどう見るか。

「小笠原はもともと無人島で、捕鯨が盛んだった 19 世紀に帆船で海を移動し過ごしていた欧米系や太平洋諸島系の人たちが住み着いた。難波船の遭難者もいれば、厳しい捕鯨船の労働から逃れた人や、一部だが海賊もいた。当時の小笠原は海洋グローバル社会の縮図のような場所で、日本史の枠組みで捉えることができず、大げさに言えば背景にはコロンブス以来の海の世界史がある」

「明治政府は北海道や琉球を併合し、1876 年に小笠原の領有に成功した。その意味で沖縄と同時代性があるが、小笠原はそれまではどの国家にも組み込まれておらず、琉球王国のような政権があった場所ではなかったという違いもある」

—その後の歩みは。

「『南洋』というカテゴリーができた 19 世紀終わりごろ、それは小笠原や沖縄県の大東諸島を指していた。サトウキビを中心とする入植の前線は南へ拡大していくが、そのプロセスは、帝国日本が植民地化や委任統治を進める時期と重なる。こうして小笠原を含む南洋の島々は軍事的な飛び石にもなっていた」

「1920 年代の砂糖価格の暴落で沖縄は『ソテツ地獄』に苦しんだが、小笠原はそれほど深刻ではなかった。東京市場にアクセスが良く野菜栽培に転換できたからで、『カボチャ成金』という言葉さえあった。ところが太平洋戦争下の 44 年に住民約 7 千人が本土へ強制疎開させられてしまう。戦後は米国の占領下に置かれ、欧米系島民を除いて米軍は島民の帰島を拒み続けた」



捕鯨が盛んだった戦前の父島（小笠原村教育委員会提供）

—小笠原の中でも硫黄島では地上戦があった。

「硫黄島民も男性 103 人が地上戦に動員され、生き残ったのは 10 人だった。米統治下では秘密基地として核兵器が置かれ、68 年の施政権返還後も自衛隊が駐留した。硫黄島民は現在まで一人も帰れておらず、強制疎開から 74 年たつてなお故郷喪失状態だ。国は希望する硫黄島民を年に数週間程度は故郷に滞在させるなど、はっきりとした責任を取るべきだ。これをやらない限り硫黄島民の戦後は終わらないというか、始まらない」



日本に施政権が返還された 1968 年の返還式典（小笠原村教育委員会提供）

—小笠原は沖縄より 4 年早く返還 50 年を迎えた。

「日本はアジア太平洋戦争で沖縄の島々とともに、硫黄島を含む小笠原の島々を降伏引き延ばしのための『捨て石』として扱った。戦後の日本は沖縄に米軍基地を押し付け、小笠原も米軍が秘密基地にし島民を難民化させたままにすることと引き換えに、主権を回復し戦後復興や『平和』を得た。沖縄とともに小笠原は、日本の総力戦の『捨て石』とされ、さらに冷戦下の日本の『捨て石』とされた」

「返還により父島や母島には四半世紀ぶりに島民が帰れるようになったが、失われた生活基盤を取り戻すのは大変だった。米統治下で島の開発が進まず、手つかずの自然が残ったことが世界自然遺産登録につながり、現在のエコツーリズムを軸とした観光につながっている皮肉な部分もあるが、その裏で島民の歴史的苦難があったことを強調したい」

## 「東洋のガラパゴス」と呼ばれる自然を守る主体は住民 人気の観光地は入島規制も <小笠原と沖縄—返還 50 年の先に> 5

琉球新報 2019 年 4 月 12 日 15:31



父島の南に浮かぶ人気の観光地・南島（奥）。入島制限があり、ガイド付きでないとは陸できない



小笠原諸島はかつて一度も大陸や日本本土と地続きになったことがない「海洋島」で、固有種が多く独自の生態系が保たれてきた。「東洋のガラパゴス」と称される島々は2011年に世界自然遺産に登録されたが、その道のりには現在遺産登録を目指す「奄美・沖縄」も直面している課題があった。外来種対策だ。



小笠原で唯一のサーフショップを営みながら自然保護に取り組む宮川典継さん＝東京都小笠原村父島

父島東側の山間部には、小笠原にのみ生息する固有の鳥、アカガシラカラスバトを保護する「サンクチュアリ」（聖域）と呼ばれる区域が広がる。柵で囲われ、天敵となるノネコが侵入しないよう安全に繁殖できる環境が整備される。

サンクチュアリができた03年当時、小笠原ではノネコによるものとみられる野鳥の死骸が多く見つかり問題となった。アカガシラカラスバトの推定生息数は一桁まで落ち込んだ。

当時林野庁に保護区域設定を働き掛けた中心となった一人が、自然ガイドの宮川典継さん（64）だ。父島でサーフショップを営み、野生のイルカと泳ぐドルフィン・スイムなどを考案してきた宮川さんは、取り組みが「世界遺産登録につながるひな形の一つになった」と振り返る。

サンクチュアリができ、ほとんどの住民が見たことのない“幻の鳥”への関心も広がり始めた。NPOやボランティアによるノネコの捕獲活動は地域住民や行政を巻き込み、島を挙げた捕獲作戦に発展。捕獲したノネコを殺さず、本土で獣医師を通じ飼育主を探す仕組みもできあがった。

島民独自のさまざまな発案や行政と民間が一体となり対策に取り組む姿勢は、ユネスコの諮問機関であるIUCN（国際自然保護連合）の現地調査でも評価された。

父島でシーカヤックなどのツアーを手掛ける自然ガイドの深澤丞さん（49）は「観光業者も自然保護に理解のある人が多い。登録制のガイド全員が島の人なのも、森を守ることに繋がっている」と説明する。今ではアカガシラカラスバトは住宅地にも現れるようになり、約400羽まで増えたという。



自然ガイドの深澤丞さん。自然保護の取り組み小笠原自然観察指導員連絡会の会長を務める＝2018年7月、東京都小笠原村父島

サンクチュアリには、資格を持ったガイド同伴でなければ入れないルールがある。絶景の自然が楽しめる小笠原で人気の観光地の南島も、ガイド付きでなければ上陸できない。こうした規制は、

自然保護と観光を両立させる知恵でもある。

外来種対策には課題も残る。小笠原はカタツムリの固有種が多く、世界遺産登録の「主役」になった。だがカタツムリを食べるプラナリアや、北米産のトカゲ「グリーンアノール」などの繁殖に歯止めがかからず、対策は追いついていない。

空路がなく、都心から船で約24時間かかる小笠原には年間約3万人の観光客が訪れる。入域観光客数が年間1千万人近い沖縄と単純比較はできないが、宮川さんに世界遺産登録を目指す「奄美・沖縄」について尋ねると、こんな答えが返ってきた。「自然保護のスタイルは必ず足元にある。中央集権的でアカデミックではない、そこに生きる人が関わる血の通ったものにならない」

小笠原の自然保護の根底には、住民や地域が主体的に関わる思想が息づいている。

（當山幸都）

（おわり）

### 体験試乗中の自衛隊車両が木に衝突、男児ら6人けが

朝日新聞デジタル 2019年4月14日 00時00分



相馬原駐屯地（群馬県

榛東村）で事故を起こしたのと同じ種類の高機動車＝陸上自衛隊HPから

陸上自衛隊相馬原駐屯地（群馬県榛東村）で13日午前11時20分ごろ、体験試乗中の7人を乗せた自衛隊車両が立ち木に衝突する事故が起きた。同駐屯地に司令部を置く陸自第12旅団によると、4～5歳とみられる男児1人と小学生の男女2人、60代男性2人、70代女性1人の計6人が打撲や擦り傷を負ったが、全員軽傷で命に別条はないという。同旅団は、30代の男性2等陸曹が運転を誤ったとみて事故の原因を調べている。

同旅団によると、車両は高機動車と呼ばれ、主に人員輸送に使われるトラックで、荷台部分に7人が対面する形でシートベルトを装着して座っていた。体験試乗は、駐屯地の創設60周年などの記念行事の一環だったという。

相馬原駐屯地司令の沢崎伸二 1等陸佐は「けがをされた方に深くおわび申し上げる。安全管理と隊員の指導に努めたい」とコメントした。

### 昨年度の自衛隊機の緊急発進 過去2番目の多さ 半数以上は中国

NHK4月13日 5時13分



領空侵犯のおそれがある国籍不明機に対する自衛隊機のスクラ

ンブル＝緊急発進は昨年度、999回と前の年に比べて11%増え、過去2番目の多さになったことが防衛省のまとめで分かりました。中国機に対するものが全体の半数以上を占めていて、防衛省は警戒と監視を続けています。

防衛省によりますと、航空自衛隊の戦闘機が昨年度に行ったスクランブル＝緊急発進は999回で、前年度に比べ95回、率にして11%増えました。

これは過去2番目に多いということですが、過去最多となった平成28年度に比べると169回、14%下回っています。

国や地域別で最も多かったのが中国機に対するもので、638回と全体の64%を占め、次いでロシア機が343回と全体の34%でした。

中国機への対応では、去年4月に中国の無人機とみられる機体が沖縄県の尖閣諸島の北、約160キロで確認されたほか、ことし3月には日本周辺ではこれまで見られなかったY9哨戒機の飛行が確認されるなど特異な動きも見られます。

防衛省は、中国機の活動が引き続き活発だとして警戒と監視を続けています。



7階の常設展示室「統制下の暮らし」のブース。

生活全般への統制が強まり「ぜいたくは出来ない筈(はず)だ!」の看板も＝2019年3月21日午前11時43分、東京都千代田区九段南1丁目の「昭和館」、小北清人撮影



### 米軍機が事前情報なく低空飛行 ドクターヘリも飛ぶ空域で 高知

NHK2019年4月12日 23時23分



シ  
ドクターヘリが飛行する高知県本山町の上空で、アメリカ軍の戦闘機が事前の情報提供なしに低空飛行訓練を行ったとして、高知県は、アメリカ軍への申し入れを政府に要請しました。

高知県によりますと、11日午後1時ごろ、本山町の上空で、アメリカ軍の戦闘機2機が、事前の情報提供なしに低空飛行訓練を行っている、町から県に連絡がありました。

その約40分後には、同じ空域でドクターヘリによる緊急搬送があり、大きな事故につながるおそれもあったということです。

このため高知県は12日、低空飛行訓練を行う際にはルートや時期について、事前に情報提供することや、危険な訓練は行わないことをアメリカ軍に申し入れるよう、外務省と防衛省に対して要請しました。

高知県によりますと、付近ではこれまでも同様の訓練が繰り返されていて、県はアメリカ軍に事前の情報提供を求めてきましたが、情報が提供されたことは一度もないということです。

高知県の尾崎知事は「消防防災ヘリやドクターヘリが日常的に飛行していて、不安の声が出ている。県内では過去に4回のアメリカ軍機による事故が発生しており、危険性の高い低空飛行訓練が続けられていることは遺憾だ」とコメントしています。



東京都千代田区の九段下交差点のそばにある昭和館は不思議な建物だ。地上7階建てなのに、周囲に溶け込み、意外と存在に気づかない。

新元号が「令和」に決まった。時代は移るが、戦争で多くの死者を出した「昭和」の時代は重い。1935(昭和10)年ごろから55(同30)年ごろまで約20年間の国民生活の労苦に関する資料を収集・保存・展示し、後世に伝えることを目的とした国の施設だ。37年の日中戦争開始から太平洋戦争、敗戦と混乱、復興と激動が続いた時代だ。

仲代達矢さん「女の子の手、引き寄せた瞬間…」

開館20周年記念でこの3月5日、昭和を代表する名優、仲代達矢さん(86)が映像で空襲体験などを語る特別上映会が開かれた。集団疎開から東京に戻った10代初めに遭遇した。「逃げた女の子の手をつかみ、引き寄せた瞬間、目の前が真っ暗になり、気がつくとその子の手だけがあった。恐怖のあまり、その手を放り投げた」胸の中には、常に小さいときに味わった戦争の苦しさがあります

昭和館は厚生労働省の委託で日本遺族会が運営する。常設展示室は7階が戦中、6階が戦後で、収蔵資料約6万点のうち約600点を展示。上映会后、この日見学した仲代さんに施設の感想を聞くと、「感動しました。僕も同じような経験をしましたから」。

### 激動の時代、今に伝える昭和館 仲代達矢さんも「感動」



記者は、元教員で説明員の志田春一さん（70）＝3月末で定年退職＝の解説を受けながら見学した。まず、目に入ったのが、徴兵検査の合格通知と召集令状、いわゆる赤紙（複製）。出征する夫や息子の無事を祈る千人針。「武運長久」を祈る寄せ書き。

時代を経てくすんでいたり、色鮮やかだったり様々だ。日本の家族は元気かと、気遣う出征した兵士から届いたはがきも。いる場所が分からないよう、機密保持のため事前に墨が塗られている。

太平洋戦争開始前後から生活の統制が強まり、梅干しだけの日の丸弁当や陶製アイロンなどが並ぶ。教育も軍国色が強まり「男子は一人残らず立派な軍人となることが求められました」と志田さん。防空壕（ごう）の体験コーナーもある。

玉音放送流れる仕掛け

階段を下りる途中、踊り場に「昭和20年8月15日」の表示がある。ボタンを押すと約4分半、昭和天皇の玉音放送が流れる。全文とその現代語訳もパネルで読める。

6階は戦後の苦しい暮らしの関連資料がある。戦争で夫や父親を失った遺族は、連合軍総司令部（GHQ）の指令で恩給が打ち切られた（日本の独立後に復活）。一方で1956年度の経済白書は「もはや『戦後』ではない」と書く。「今の暮らしも、この20年余りの間の非常な苦労の上にあったことを感じ、知り、学んで欲しい」と志田さん。

パンフレットや音声ガイド、新…  
残り：947文字／全文：2062文字

## 参院選「激戦」に5選挙区追加 自民、1人区対策

2019/4/13 17:23 共同通信社

夏の参院選の改選1人区を巡り、自民党は厳しい戦いを予想する「激戦区」に秋田、滋賀、徳島・高知（合区）、愛媛、佐賀の5選挙区を追加指定した。昨年未までに11選挙区を激戦区に指定しており、全国32の1人区のうち半数の16選挙区に重点的なてこ入れが必要だと判断した。党関係者が13日、明らかにした。

1人区は参院選全体の勝敗を大きく左右する。野党は統一地方選後の4月下旬から候補一本化調整を加速する方針。自民は既に候補選定を終えており、激戦区指定による陣営の引き締めを狙う。

5選挙区は接戦の恐れのある「警戒区」だったが野党候補の擁立状況など情勢を踏まえて見直した。

## 市議選候補、女性割合最高＝無投票当選者数は低下＝統一選後半戦

時事通信 2019年04月14日 23時55分

総務省は14日、統一地方選の後半戦として同日告示された294市議選の立候補状況を取りまとめた。総定数6726に対して、8063人が立候補を届け出た。女性は前回2015年を上回る1394人で、候補者数に占める割合は17.3%と過去最高となった。無投票当選者数は前回は下回る182人だった。

18年5月施行の「政治分野における男女共同参画推進法」で

は、議員選挙で男女の候補者数を極力均等にしよう政党に求めている。党派別の女性候補者の割合を見ると、共産党が39.0%で最も高く、公明党も3割を超えた。一方で自民党は7.1%にとどまった。旧民進党から分裂した立憲民主党は24.2%と候補者全体の女性割合を超えたが、国民民主党は14.3%で下回った。

無投票となったのは、10道県の11市議選。愛知県ではみよしと長久手の2市で、有権者が一票を投じる機会を失った。

## 失言、忬度巡り国会で攻防激化 与党、予算委開催を拒否

2019/4/13 16:41 共同通信社

国会は、失言で事実上更迭された桜田義孝前五輪相や塚田一郎元国土交通副大臣の「忬度」発言を巡り、与野党の攻防が激化しそうだ。与党は、野党が求める衆参両院の予算委員会集中審議の開催を拒み、政権への打撃を最小限に抑えたい考え。野党は開催に応じなければ各種法案の審議拒否も辞さない構えで、対決姿勢を強めている。

立憲民主党など野党各党は12日、衆参両院の予算委員長に対し「相次ぐ辞任は内閣のおごりと緩みから生じた」として、安倍晋三首相が出席する集中審議の早期開催を要求した。

与党は「閣僚辞任で集中審議を開催したことはない」（自民党の森山裕国対委員長）と拒否を貫く。

## 後半国会「身引き締める」と首相 新宿御苑、桜を見る会で表明

2019/4/13 11:03/4/13 11:04updated 共同通信社



「桜を見る会」で招待客と握手を交わす安倍首相（中央）＝13日午前、東京・新宿御苑

安倍晋三首相は13日午前、東京都内の新宿御苑で開催した恒例の「桜を見る会」であいさつし、後半国会に向けて「身を引き締めて臨まなくてはならない」と表明した。桜田義孝前五輪相や塚田一郎元国土交通副大臣の事実上の更迭を念頭にした発言。

東日本大震災からの復興に関し「私たちが一丸となり、被災地の皆さんが安心できる生活を取り戻せるよう全力を尽くす」と強調した。桜田氏は、復興よりも自民党の同僚議員が大事だと失言し更迭された。

新元号の「令和」を巡っては「今咲き誇る花のように、それぞれの花を咲かせることができる時代を皆さんと一緒につくっていきましょう」と訴えた。

## 安倍首相、綱紀粛正を徹底＝14日に福島入り、「本気度」アピールへ＝桜田氏辞任で

時事通信 2019年04月12日 19時21分

東日本大震災をめぐる失言で桜田義孝前五輪担当相が引責辞任したことを踏まえ、安倍晋三首相は12日、各閣僚に綱紀粛正

の徹底を求めた。自身は14日に被災地の福島県内を回る予定で、復興への「本気度」をアピールし、信頼回復に努める考えだ。

首相の被災地視察は桜田氏の辞任後初めて。福島県の東京電力福島第1原発(大熊町、双葉町)や大熊町役場新庁舎などを訪れ、地元関係者と意見交換、復興に取り組む決意を伝える。

首相は12日の閣議後の閣僚懇談会で「閣僚全員が復興相であるとの意識を改めて深く胸に刻んでほしい」と指示した。

## 桜田氏辞任「任命責任は私に」 安倍首相

朝日新聞デジタル 2019年4月12日 11時22分



参院本会議で、立憲民主党の

牧山弘恵氏の質問に答弁する安倍晋三首相＝2019年4月12日午前10時33分、岩下毅撮影

安倍晋三首相は12日午前の参院本会議で、自民党議員を東日本大震災の「復興以上に大事」と発言して辞任した桜田義孝前五輪相について、「被災地の皆さまの気持ちを傷つける発言を行い、辞任することになった」と述べた。立憲民主党の牧山弘恵氏の質問に答えた。

桜田氏は大臣就任以来、失言を重ねてきたが、首相は擁護し続けた。任命責任を問われると、首相は「これまで問題を指摘された際は、反省の上で職責を果たすことを求めてきた。(今回の桜田氏の)発言については私から被災地を始め国民の皆さまにおわび申し上げる。任命責任は私にある」と語った。

「付度(そんたく)」発言で辞任した塚田一郎国土交通副大臣について、牧山氏は首相がリーダーシップを発揮して付度があったか調査するよう求めた。しかし首相は「石井(啓一) 国交相は『省内で付度や利益誘導はなかったと考えている』と答弁している。私の指示で調査することは考えていない」と述べた。

財務省の公文書改ざん問題などで資質が問われている麻生太郎財務相については、「財務省の一連の問題を踏まえ、組織の立て直しに取り組んでいる。引き続き職責を果たしていただきたい」と語った。

首相、信頼回復への努力指示 立民は審議拒否も

2019/4/12 22:25 共同通信社

安倍晋三首相は12日の閣僚懇談会で、桜田義孝前五輪相の辞任に触れ「全ての閣僚、副大臣、政務官が一層身を引き締め、襟を正し、内外の課題に取り組むことで国民の負託に応え、信頼回復に努めたい」と指示した。失言による閣僚や副大臣の辞任が相次ぎ、政権運営への危機感が表れた形だ。

一方、立憲民主党執行部は、法案審議の日程協議に当面応じないよう党内に指示した。与党が衆参両院で桜田氏更迭を踏まえた予算委員会集中審議の開催を拒んでいることに反発した。審議拒否も辞さない構えだ。

野党、参院予算委集中審議を要求 政権不祥事で

2019/4/12 13:26/12 13:28updated 共同通信社

立憲民主党など野党各党は12日、桜田義孝前五輪相の失言など一連の政権不祥事に関し、参院予算委員会の集中審議を開催するよう金子原二郎委員長に要求した。金子氏は、与野党で引き続き協議してほしいと述べた。

野党は金子氏に提出した開会要求書で、桜田氏の失言や塚田一郎国土交通副大臣の「付度」発言を取り上げ「首相の責任は重大だ。内閣の政治姿勢について問いたださなければならない」とした。

## 桜田五輪相辞任 集中審議開催めぐり 与野党対立

NHK2019年4月13日 5時06分

桜田前オリンピック・パラリンピック担当大臣の辞任を受けて、野党側は、安倍総理大臣の任命責任を追及するとともに、引き続き集中審議の開催を求めています。一方、与党側は、開催には応じない姿勢を崩しておらず、早期に事態を収束させたい考えです。桜田前大臣が「復興以上に大事なのが議員だ」と発言して辞任したことを受けて、野党側は12日、参議院本会議で、立憲民主党の牧山ひろえ氏が「大問題なのは、桜田氏の繰り返される失言、暴言を一顧だにせず、かばい続けた安倍総理大臣の責任だ」と批判するなど、安倍総理大臣の任命責任を追及しました。

これに対し、安倍総理大臣は「任命責任は、もとより私にある。すべての閣僚が身を引き締め、襟を正し、内閣の総力を挙げて、東日本大震災からの復興をはじめ、内外の課題に取り組むことで国民の負託にこたえ、責任を果たしていく」と述べました。野党側は、桜田前大臣に加え、塚田前国土交通副大臣が道路整備をめぐる「そんたくした」と発言して辞任した問題などをたずため、衆参両院の予算委員長に対し、速やかに集中審議を開催するよう求めました。

一方、与党側は、集中審議の開催には応じない姿勢を崩しておらず、衆議院の補欠選挙や夏の参議院選挙などへの影響を抑えたいとして、早期に事態を収束させたい考えで、与野党の攻防が展開されそうです。

## 【政治考】“反省”に誠意はあるのか

西日本新聞 2019年04月13日 06時00分

「任命責任は私にある。全ての閣僚が一層身を引き締め、内閣の総力を挙げて国民の負託に応えたい」。12日の参院本会議。安倍晋三首相は時折神妙そうな表情を浮かべながら、責任を追及する野党議員に対して同じ答弁を繰り返した。

下関北九州道路を巡る「付度(そんたく)」発言や、東日本大震災の被災者を傷つける失言の責任を取って、塚田一郎国土交通副大臣と桜田義孝前五輪相が相次いで辞任。問われているのは、首相の“反省”は言葉だけなのかどうかという点だ。

これまでも首相は矛先が向けられた場合、一時的に低姿勢を演じ、後はひたすら嵐が過ぎ去るまでやり過ごしてきた。今回も任命責任は素早く認めた。しかし、肝心なのは実効性だ。

「無責任体質」が際立ったのが、2017年に発覚した森友・加計(かけ)学園問題だ。国会で首相は「私や妻が関係していた



なら、総理も議員も辞める」と述べた。だが、当時の首相夫人付の政府職員が財務省に土地の照会をした事実が半明したり、獣医学部新設について当時の首相秘書官が「首相案件」と発言していた文書が明らかになっても責任を取ることはなかった。

それどころか、官邸に付度し、決裁文書を書き換えた財務省に責任を押しつけ、盟友の麻生太郎副総理兼財務相をかばい続けた。今回の2人の辞任劇でも、2人が所属する派閥領袖(りょうしゅう)の麻生氏、自民党の二階俊博幹事長への配慮が先に立ち、首相の“更迭”判断は遅れに遅れた。

首相が気を使うべきは、自身が連続3選を果たした自民党総裁選でお世話になった派閥のボスではない。誠実に向き合うべきは国民ではないか。

## 政府・与党、辞任ドミノの再来警戒＝「桜が散ったら、次はさつき」と野党攻勢

時事通信 2019年04月12日07時12分



桜田義孝 前五輪担当相

東日本大震災の復興を軽視する発言をした桜田義孝氏の五輪担当相辞任を受け、政府・与党は2007年参院選の大敗につながった閣僚の「辞任ドミノ」再来を警戒している。一方、野党は桜田氏をかばい続けてきた安倍晋三首相の任命責任を追及するとともに、資質を問われてきた「問題閣僚」に照準を定め、衆院2補選や参院選に向けて反転攻勢の構えだ。

「内閣全員がより一層身を引き締め、さまざまな批判を真摯(しんし)に受け止めなければならない」。首相は11日、桜田氏の辞任について首相官邸で記者団に対し、厳しい表情でこう語った。

第1次政権では、「政治とカネ」の問題が問われた佐田玄一郎行政改革担当相や原爆投下発言で批判を浴びた久間章生防衛相が辞任。政権が混乱する中、07年参院選で自民党は惨敗した。その後、首相は退陣した。

「付度(そんたく)」発言で塚田一郎氏が国土交通副大臣を辞任した直後に桜田氏が続いたことは、そんな第1次政権の「辞任ドミノ」を想起させる。官邸は今回、桜田氏の発言から辞表提出までわずか約2時間で事態收拾を図ったが、「悪い流れ」を断ち切れる保証はない。

11日の自民党各派閥の会合では、苦言が相次いだ。岸田文雄政調会長は「政権・与党に気の緩みがあるとの指摘がある」と強調。石原伸晃元幹事長は「いつ国民が愛想を尽かすか。危機感が足りない」と指摘した。公明党の山口那津男代表は、党会合で「緊張感を持つことを閣内に徹底してもらいたい」と訴えた。

これに対し立憲民主党など主要野党は、桜田氏を擁護し続け、野党の再三の罷免要求を拒否してきた首相の任命責任を徹底追及する。

立憲の辻元清美国対委員長は11日の野党国対委員長会談で、「私たちの指摘を無視して(桜田氏を)居座り続けさせた責任は首相にある」と批判した。立憲の衆参国対委員長は自民党に対し、

衆参両院予算委員会で首相出席の集中審議を開催するよう求めた。

財務省文書改ざんなどで責任を問われた麻生太郎副総理兼財務相、「政治とカネ」の問題が取り沙汰される片山さつき地方創生担当相らもターゲットに据える。「桜」が散った後は『さつき』だ。立憲幹部はこう予告した。

## 公明、補選対応でジレンマ＝大阪・沖縄の地域事情足かせ

時事通信 2019年04月12日20時37分

21日投開票の衆院大阪12区、沖縄3区の2補選をめぐり、公明党がジレンマを抱えている。いずれも自民党公認候補を推薦。しかし、大阪では日本維新の会が衆院選での「すみ分け」解消をちらつかせ、維新との全面対決をためらう声が出ている。沖縄でも、自民候補が米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設に言及したが、公明党県本部は移設反対を堅持しており、全面支援できるか不安が残る。

「参院選の前哨戦として非常に重要な位置付けた」。斉藤鉄夫幹事長は12日の記者会見で、2補選の意義をこう強調した。ただ、山口那津男代表の現地入りは見送る方向で、「統一地方選に全力を挙げるのも大きな仕事だ」と述べるにとどめた。

維新はこれまで、公明と競合する関西の6選挙区で候補擁立を見送ってきた。だが、大阪都構想をめぐり、両党は府知事・市長ダブル選で衝突。公明党内には補選でも全面対決を続ければ、次期衆院選に響きかねないとの懸念の声も漏れ始めている。

また公明党は、無所属の元総務相と府議選で協力するなど近い関係にある。このため、補選では一定の公明票が元総務相に流れるとの見方があり、同党府本部関係者は「自民候補の支援に力を入れるのは無理だ」と漏らす。

事実上の与野党一騎打ちとなった沖縄補選でも、公明党は頭を悩ます。辺野古移設の是非が最大の争点で、自民候補は移設容認に言及。党本部は政府・自民党と歩調を合わせて辺野古移設推進を掲げるが、県本部は反対の立場を崩していない。党本部と県本部の立場が異なる中、ある公明党県議は「党本部もあまり無理強いできないだろう」と明かした。

## ダブル選大敗「頭が痛い」 衆院議員維持へ揺らぐ公明

朝日新聞デジタル大阪ダブル選挙・都構想

坂本純也、今野忍 2019年4月12日00時03分

公明党が、大阪府知事・大阪市長のダブル選で大敗した余波に揺れている。大阪維新の会との対立関係が、次期衆院選などに影響する懸念があるからだ。今後は、ダブル選のきっかけとなった「大阪都構想」への対応が焦点となる。

衆院大阪16区選出の公明党の北側一雄副代表は11日の記者会見で、「衆院選はいつあるか分からない。今あれこれ申し上げる状況ではない」と述べた。維新側が公明現職のいる選挙区に公認候補を擁立する方針を示されたことを問われ、答えたものだ。

公明は2011年と15年にもあった大阪ダブル選で「自主投票」を選択。維新側も公明が公認候補を擁立した衆院の大阪と兵庫の計六つの選挙区での候補者擁立を控えてきた。

ところが、都構想の是非を問う住民投票の実施時期をめぐり、公明は維新と対立。7日投開票のダブル選で自民党推薦候補に「府本部推薦」を出して戦った。

これに維新の橋下徹・前代表がフジテレビの情報番組で「公明党を壊滅させるというところまでやる」と反発。維新政調会長の吉村洋文・大阪府知事も「民意が無視されるなら、6選挙区を含めて維新が立てない理由はない」と牽制（けんせい）した。

大阪選出の公明衆院議員の一人は「国政と地方選は違う」と強気の姿勢を示すが、大阪以外の議員からは「民意が出たのに（都構想の住民投票に）反対も何もない」との声も上がる。公明府議団の八重樫善幸幹事長は10日、記者団に「民意を重く受けとめる」とし、都構想について「またさらに（議論を）深めていけばいい」との考えを示した。

公明は5年前にも橋下氏から衆院選で対立候補になると挑発され、15年の住民投票実施に協力した経緯がある。北側氏は11日の会見で「大阪の問題については、府議会・市議会とよく相談して方向性は検討していきたい」と語るにとどめた。支持母体の関西創価学会幹部は「都構想の住民投票に向けてどう対応するか、頭が痛い」と話す。（坂本純也、今野忍）

### 「今の状況では関西以外ではダメ」 維新・馬場幹事長

朝日新聞デジタル 2019年4月12日 17時19分



記者会見をする日本維新の会の馬場伸幸幹事長＝1

0日午後、国会内

・馬場伸幸幹事長（発言録）

我が党が関西以外では弱いと報道されているが、実力通りだと思う。やはり市町村議の数を増やしていくことが都道府県議を生み出す力の源になる。今の状況ではもちろん、関西以外ではダメ、という結果になると思う。（市区町村議選などが行われる）統一地方選の後半戦で、一人でも多く仲間を増やして頂くことをお願いしたい。（12日、党会合で）

### 維新、道府県議選で関西以外全敗 地域政党に戻る危機感

朝日新聞デジタル 斉藤太郎 2019年4月11日 22時48分



維新勢力の統一地方選（道府県議）の

議席

### [PR]

日本維新の会は7日投開票の道府県議選で、関西以外では全敗を喫した。大阪府知事選と大阪市長選では完勝した維新勢力だが、党勢の全国的な広がりを欠く現状が浮き彫りになった。党内には関西限定の「地域政党」に回帰せざるを得ないとの危機感が広がる。

維新勢力は国政政党「日本維新の会」が全国的な選挙や国会活動を担い、大阪では地域政党「大阪維新の会」として活動している。

「我々は統一地方選の前半戦で重要な選挙は勝たせて頂いたが、改めて気を引き締めないといけない」

日本維新の馬場伸幸幹事長は11日、党所属衆院議員の会合で呼び掛けた。10日の国会議員団の役員会では、大阪の熱気とは裏腹に「関西以外は厳しかった」との意見が相次いでいた。

日本維新が道府県議選で獲得し…

残り：658文字／全文：972文字

### 立憲・蓮舫副代表「平成最後に古い自民政治明らかに」

朝日新聞デジタル 2019年4月12日 17時32分



党会合であいさつする蓮舫・立憲民主党副代表＝27

日午前、国会内

立憲民主党・蓮舫副代表（発言録）

予算委員会を開いて、塚田一郎前国交副大臣、桜田義孝前五輪相、任命責任の安倍晋三首相、（米欧歴訪で）外国に行く前に国民に説明をするべきだと、しっかり主張する。平成の最後に、利益誘導、派閥政治の弊害、古くて古くて古くて、自民党の政治が実は今なお生きていることが明らかになったので、しっかり平成最後の予算委を開いて、この問題は追及をしたい。（12日、党会合で）

### 立民、静岡5区で細野氏に対抗馬 枝野氏「自民系に勝つ」

2019/4/14 19:38 共同通信社

立憲民主党の枝野幸男代表は14日、無所属のまま自民党二階派に入会した細野豪志元環境相に対抗する独自候補を、次期衆院選の静岡5区に擁立する意向を明らかにした。細野氏の地元である静岡県三島市で「この選挙区は野党の空白区。野党第1党の責任として自民党系の2人に勝てるような候補者を擁立したい」と記者団に述べた。

枝野氏は、14日告示された統一地方選後半戦の遊説を三島市でスタート。自民党入りを模索する細野氏らをけん制した形だ。静岡5区では、衆院比例東海で繰り上げ当選した自民党岸田派の吉川起衆院議員と細野氏が競合している。

### 村本大輔さん、故郷を語る「原発は町のコンビニと同じ」

朝日新聞デジタル聞き手・南有紀 2019年4月14日 18時04分





ウーマンラッシュアワーの村本大輔さん＝東京都内



お笑いコンビ「ウーマンラッシュアワー」の村本大輔さん（38）は福井県おおい町出身。原発や沖縄の基地問題などについての自身の考えを、臆せずにSNS上でも発信しています。ふるさとに立地する原発や笑い、表現について考えていることを聞きました。

「そういうもん」を考える

——どうして芸人に。

テレビの中のさんまさんやダウンタウンさんとかを見て、腹抱えて笑って。「俺もあっちの世界行きたいなあ」って思った。振り返ってみたらそれ以外は真っ暗でした。テレビの中のあの空間が闇の中の光だった。そこに入りたかった。

——真っ暗？

勉強ができなかったんです。中学時代は79人中79位。スポーツもできない。もう衝動ですよ。行きたいと思ったら行きたい。それで、小浜水産高校（福井県小浜市）を2年で中退して、18歳で吉本（NSC＝吉本興業の芸人養成所）に入った。

——その頃から好奇心旺盛だったんですか。

これは福井の田舎だからこそだと思うんですけど、たぶん人生でいちばん言われてきたのが、「そういうもんやって」という言葉。お笑い芸人になりたいと言っても、「無理。そういうもんやん」と、誰も賛成してくれなかった。でも納得できないじゃないですか。「それってどういうもんなんだ」と、すごく考えるようになりました。

原発って言葉自体に罪ない

——おおい町には、関西電力の大飯原発が立地しています。生まれる前年の1979年に営業運転を始めました。

原発は、普通に町にコンビニがあるのと同じ感じ。というかむしろ、近所にコンビニができたときの方が驚いた。たぶんみんな、自分の町の姿に気がつくのは、町を出て、色んな土地を知ってからじゃないかな。大人になってから気づくんだと思う。

——原発について話すようになって感じることは。

バラエティー番組の打ち合わせで原発の話を出すと、「いや原発は」ちょっと重い」って言われるんです。原発に反対か賛成かをはっきり言っているならまだ分かるんですよ。でも原発っていう言葉自体に罪はない。なのに、みんなが言葉の中に、勝手にイメージを詰めこんでいく。

僕はこれ、お笑い芸人の責任だと思う。罪だと思うんですよ。ホームレスのおばあちゃんの話をしたら、MCの人に「それゆっ

たらアカン人」って言われた。原発も、障害者や在日朝鮮人とかもそう。勝手なイメージを詰め込まれて、「言ったらアカンもん」にされている。

そのせいで彼らは特別視され、日常で語られなくなる。だってテレビの中ではそう扱われているから。語られなかったらどうなるか。おいてけぼりにされるわけですよ。

——原発を意識し始めたきっかけ…

残り：1430文字／全文：2520文字

## 聖火リレー出発に立ち会い＝福島視察、前五輪相辞任は触れず —安倍首相

時事通信 2019年04月14日 17時10分



東京電力福島第1原発構内を視察する安倍晋三首相（手前）。（左から）2号機と3号機が見える＝14日午後、福島県大熊町

安倍晋三首相は14日、東日本大震災の被災地である福島県を訪れ、廃炉作業が続く東京電力福島第1原発などを視察した。首相は来年3月に2020年東京五輪の聖火リレーが同県を出発する際に立ち会い、「復興五輪を世界に発信したい」と記者団に表明。一連の視察を通じ、復興をめぐる失言で辞任した桜田義孝前五輪担当相には言及しなかった。

首相の同原発訪問は13年9月以来5年半ぶり。前回は防護服を着て構内を回ったが、今回はマスクなしでスーツ姿のまま視察し、放射能の影響の低減をアピールした。



福島県のJヴィレッジで地元高校生らの話を聞く安倍晋三首相（右から3人目）＝14日午前

これに先立ち、10日に避難指示が解除された大熊町大川原地区で町役場新庁舎の開庁式に出席。「（町民の）熱い思いが実を結び、町役場が町内に戻ってきた。ここからが新たなスタートだ」と祝辞を述べた。20日に全面再開を迎え、来年3月には聖火リレーの出発地となるサッカー施設「Jヴィレッジ」（楡葉町など）も訪れ、サッカー少年らと交流した。

首相の東日本大震災の被災地訪問は41回目。

## 徴用工問題は未決着＝「日本の努力必要」と韓国高官

時事通信 2019年04月14日 16時42分

【ソウル時事】韓国の李洛淵首相の秘書室長を務める鄭雲鉉氏は14日、自らのフェイスブックに投稿し、「最近、韓日両国は（元徴用工らの訴訟で日本企業に賠償を命じた）最高裁判決を契機に関係がぎくしゃくしている」と述べ、「きちんと決着をつけなかった歴史はよみがえり、議論的になりがちだ」と指摘した。

また、「（関係改善は）両国の努力、中でも特に日本の努力が増

せば、可能だと思う」と主張した。

### 徴用工像撤去は「親日」＝韓国・釜山の市民団体が非難

時事通信 2019年04月13日 18時48分

【ソウル時事】韓国・釜山の日本総領事館近くの公園脇の歩道に設置されていた徴用工を象徴する像が市当局に撤去されたことを受け、像を置いた市民団体は13日、「撤去は親日（行為）だ」と市当局を非難する声明を発表した。14日に公園で糾弾集会を開く計画も明らかにした。

市民団体側は「釜山市は日本の手先となることをためらわなかった」と反発。「市は『親日・積弊（積もった弊害）』であり、われわれは最後まで闘う」と強調している。

### 首相、日韓首脳会談の見送り検討 6月の大阪G20会合で

2019/4/13 21:00/14 10:18updated 共同通信社



安倍晋三首相、韓国の文在寅大統領

安倍晋三首相は6月に大阪で開く20カ国・地域（G20）首脳会合の際、韓国の文在寅大統領との個別の首脳会談を見送る方向で検討に入った。複数の政府関係者が13日、明らかにした。韓国人元徴用工の対日賠償請求問題などを踏まえ「文氏に冷え込んだ日韓関係を改善する意思が感じられず、建設的な対話が見込めない」（官邸筋）との判断に傾いた。

大阪でのG20期間中、首相は米中ロ首脳などとの個別会談を調整している。文氏との会談を見合わせれば、日韓の相互不信に拍車がかかりそうだ。韓国が対日姿勢を軟化させた場合や、北朝鮮問題などの情勢変化があれば、文氏と話し合う可能性も出てくる。

### 韓国高官「日韓関係の改善には日本の努力必要」

NHK4月14日 20時25分



韓国政府の高官は、太平洋戦争中の「徴用」をめぐる、問題は解決していないとして、日韓関係の改善には特に日本の努力が必要だという認識を示しました。

韓国のイ・ナギョン（李洛淵）首相の秘書室長を務めているチョン・ウニョン（鄭雲鉉）氏は14日、日韓関係に関する見解をみずからのフェイスブックに投稿しました。

この中でチョン氏は、去年10月、韓国で「徴用」をめぐる日本企業に賠償を命じる判決が確定したのをきっかけに「両国関係はぎくしゃくしている」という見方を示したうえで、「きちんと決

着がつかなかった歴史は、議論的になりがちだ」として、問題は解決していないという考えを明らかにしました。

そして今後の関係改善について「両国の努力、その中でも特に日本の努力が増えれば可能になると思う」という認識を示しました。

「徴用」をめぐる日本政府は、1965年の日韓請求権協定で解決済みだという立場で、韓国政府に対し協定に基づく協議を繰り返して求めているだけに、両国の認識の違いが改めて浮き彫りとなりました。

### 米で世界最長翼機が初飛行 宇宙ベンチャー

2019/4/14 15:25 共同通信社



試験飛行する巨大航空機「ストラトローンチ」＝13日、米カリフォルニア州モハーベ（ロイター＝共同）

【ニューヨーク共同】米宇宙ベンチャー、ストラトローンチ・システムズは13日、左右に広がる翼が117メートルで世界最長という巨大航空機「ストラトローンチ」の初飛行に成功したと発表した。航空機の翼に宇宙ロケットを付けて飛び、上空で発射する構想の実現に向けて前進した。

ストラトローンチは13日午前6時58分（米西部時間）に離陸し、カリフォルニア州のモハーベ砂漠上空を約2時間半飛行。最高速度は時速189マイル（約300キロ）、最高高度は1万7千フィート（約5千メートル）に達したという。

ストラトローンチはボーイング747に使われるエンジン6基を備えた双胴機。



離陸する巨大航空機「ストラトローンチ」＝13日、米カリフォルニア州モハーベ（ロイター＝共同）